

令和 4 年度教育施策の概要について

このことについて、別紙のとおり決定いたしたい。

令和 4 年 3 月 1 8 日

岡山県教育委員会教育長
鍵 本 芳 明



11月1日は『おかやま教育の日』
11月1～7日は『おかやま教育週間』

令和4年度 教育施策の概要



岡山県教育委員会

[はじめに]

本県教育の使命は、子どもたちに自らの進路を切り拓く力を確実に身に付けさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間を育てることです。令和3年2月に策定した第3次岡山県教育振興基本計画は、「教育県岡山の復活」を重点戦略の第一に位置付ける第3次晴れの国おかやま生き生きプランに基づき、岡山県教育大綱を踏まえ策定したものであり、令和3年度からの4か年の施策の方向や主な取組、目標とする指標等を示しております。

この冊子は、第3次岡山県教育振興基本計画に基づき、令和4年度において取り組む施策・事業を取りまとめたものです。令和4年度は、授業改善や個に応じた指導の充実、地域や社会と連携・協働した探究的な学びやICTを活用した創造性を育む学びの推進、教員の勤務負担のさらなる軽減による教育活動の充実に加え、スクールソーシャルワーカーや、問題行動が見え始めた学校に対して指導体制強化の支援を行う集中指導員などの専門家と連携した取組などを重点的に進めてまいります。

諸施策の実施に当たっては、市町村教育委員会との相互の信頼関係の下、県教育委員会としての役割と責任において主体的な姿勢で取り組むとともに、関係機関、関係団体等とも連携を深めながら、積極的に推進してまいります。政令市である岡山市とも連携を密にし、課題や取組の方向性を共有するとともに、それぞれの施策が相乗効果を発揮できるよう、教育行政を進めてまいります。

【表紙の写真】

上：倉敷市立茶屋町小学校における1人1台端末を活用した学習
(令和3年11月18日撮影)

左下：井原市立県主小学校における地域を題材とした探究的な学習
(令和3年11月11日撮影)

右下：スマート専門高校事業により導入された県立高梁城南高校の
ロボット実習システム(令和3年10月21日撮影)

目次

第3次晴れの国おかやま生き生きプラン 概要	… 1
令和4年度 最重点取組項目	… 2
第3次岡山県教育振興基本計画 概要	… 3
第3次岡山県教育振興基本計画の目標指標	… 5
小・中学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの…)	7
県立学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)	… 9

施策の概要

1 魅力ある学校づくりの推進	… 11
(1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備	… 11
(2) 不登校を生まない学校づくりの推進	… 12
(3) 教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保	… 15
(4) 就学前教育の質の向上	… 20
(5) 活力ある小・中学校づくり	… 21
(6) 高等学校段階における教育の充実	… 22
(7) 特別支援教育の推進	… 24
(8) 大学等との連携	… 28
(9) 子どもたちの安全の確保	… 29

2 学びのチャレンジ精神の育成	… 31
(1) 夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進	… 31
(2) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり	… 37
(3) 国際的に活躍できる人材の育成	… 40
(4) Society5.0に向けた人材の育成	… 42

3 家庭・地域の教育力の向上	… 45
-----------------------	------

(1) 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着	… 45
(2) 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進	… 47

4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成	… 49
-------------------------------	------

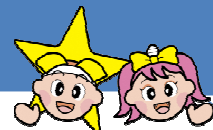
(1) 道徳教育を中心とした規範意識の確立	… 49
(2) いじめや暴力行為等への対策の推進	… 49
(3) スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応	… 51
(4) 郷土愛の醸成	… 52
(5) より良い社会づくりに参画する人材の育成	… 53
(6) 子どもたちの体力の向上	… 54
(7) 子どもたちの健康の保持増進	… 57
(8) 人権教育の推進	… 58

5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興	… 60
-------------------------------	------

(1) 生涯学習活動の推進	… 60
(2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用	… 62

資料編

岡山県家庭教育応援条例	… 64
県予算と教育委員会予算	… 67
教職員定数	… 67
令和3年度→令和4年度にかけての事業整理表	… 68
知事部局等の関連事業	… 69
主な教育関連等の月間・週間・日 一覧	… 71
県教育委員会組織・分掌	… 73
教育に関する相談窓口	… 74



重点戦略 I 教育県岡山の復活

1 学ぶ力育成プログラム

- キャリア教育の推進
- 子どもたちが学力が伸びる仕組みづくり
- 教師の授業力の向上
- 就学前教育の質の向上
- 高等学校における学力の向上
- 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着
- 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進
- 特別支援教育の充実

子どもたちが、将来の夢や目標を持ちながら、未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画することができるよう、落ち着いた学習環境の中で、学力に加え、規範意識や他者への思いやりといった豊かな心、体力の向上による健康で充実した気力を身につけさせるとともに、グローバルな視点を持って、豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする志を育成します。

2 徳育・体育推進プログラム

- 不登校等を生まない学校づくりの推進
- 道徳教育を中心とした規範意識の確立
- 暴力行為等への対策の推進
- 青少年の健全育成・非行防止対策の推進
- スマホネット対策の推進
- より良い社会づくりに参画する人材の育成
- 子どもたちの体力の向上
- 子どもたちの健康の保持増進
- 人権教育の推進
- 困難を有する子ども・若者への支援

※各戦略プログラムには、計画期間中に達成しようとする目標値として、「生き生き指標」を設定しています。

- ・ は重点施策
(生き生き指標により達成度を示すことができる施策)
- ・ は推進施策 (重点施策以外の施策)

3 グローバル人材育成プログラム

- 国際的に活躍できる人材の育成
- Society5.0 に向けた人材の育成
- 時代の変化に対応した魅力ある学校づくり
- 高等教育機関における実践的な人材育成等の推進

重点戦略 II 地域を支える産業の振興

3 観光振興プログラム

- 観光資源としての自然や文化の積極的な活用

重点戦略 III 安心して豊かさが実感できる地域の創造

3 子育て支援充実プログラム

- 子ども虐待防止対策の推進

4 防災対策強化プログラム

- 自らの安全は自らで守る取組の促進
- 防災施設整備や公共施設等の耐震化の推進

8 生きがい・元気づくり支援プログラム

- 多文化共生の地域づくりの推進
- 生涯学習活動の推進

9 情報発信力強化プログラム

- 文化とスポーツを通じた岡山からの情報発信

令和4年度 最重点取組項目 ～新時代の教育県岡山を目指して～

1 夢を育む教育とPBL（課題解決型学習）の推進

- ・ **【新規】PBLガイドブックの作成**による、岡山型PBLの考え方の周知・普及
- ・ **【新規】**各方面で活躍する方から子どもたちへの**夢への実現に向けたメッセージ動画の発信**
- ・ **PBL等の取組を発信し、オンラインで交流する場の提供**
(おかやま学びたい賞フォーラムや高校生探究フォーラムなど)

2 確かな学力の育成・学ぶ意欲の向上

- ・ **【拡充】学校経営アドバイザー等の学校訪問**による、学校の組織力の向上、教員の授業力の向上
→**学校経営アドバイザーを増員**
- ・ **【拡充】授業改革推進チームの配置**による、県下の授業改善の一層の推進
→**チーム数を拡充**
- ・ **【拡充】教師業務アシスタント、部活動指導員の配置**による、教員の子どもと向き合う時間の確保
→**部活動指導員配置数を拡充**
- ・ **放課後等の補充学習への支援員の配置**による、学習内容の確実な定着
→EBPM（根拠に基づく政策立案）推進の観点から、専門家の助言を得ながら効果検証を行い、実効性の高い事業の実施を目指す

3 不登校等を生まない魅力ある学校づくり

- ・ **【新規】別室指導の成果普及・専用教室拡充**による不登校の未然防止と教室への復帰支援
- ・ **【拡充】スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用**による、家庭環境等への対応支援充実
→**SSWは全員有資格者を任用**
- ・ **【拡充】スクールカウンセラー（SC）の配置**による、子どもの心のケアや見立て、教職員への助言
→**年間派遣10回未満の学校を解消**
- ・ **不登校等の未然防止**のため、夢や目標の具現化に向けた自己存在感等を感じられる学校・学級づくり
- ・ **集中指導員などの派遣**による、問題行動が見え始めた学校に対する指導体制強化の支援

4 GIGAスクール構想の推進

- ・ 管理職・教職員等それぞれの**職務・課題に応じた研修の充実**による、ICT活用指導力のレベルアップ
- ・ **ICT支援員の巡回やコールセンターの設置**による、ICT活用の実践に集中的に取り組める環境の確保
- ・ **おかやま学校教育情報化推進計画（仮称）の策定**による、ビジョンや取組の方向性の共有

第3次岡山県教育

1. 策定の趣旨

「岡山県教育大綱」を踏まえるとともに、第2次岡山県教育振興基本計画をベースとして、社会情勢の変化やこれまでの取組の成果と課題に鑑み、第3次晴れの国おかやま生き生きプラン等に基づきながら、学校教育や社会教育、文化、スポーツなどの教育分野全般にわたっての具体的な取組や目標とする指標を明らかにするものです。

2. 育みたい資質能力

本県教育に課せられた使命は、教育をめぐる社会情勢が変化する中で、子どもたちが自ら進路を切り拓く力を確実に身につけさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間に育てることです。

そのため、子どもたちの学びの原動力である夢を育む「夢育」を進め、意欲や自信などの「自分を高める力」を引き上げ、学力や体力、規範意識や人間関係構築力を身につけさせることが重要です。

こうしたことを踏まえ、子どもたちに育みたい資質能力として、

自立

共生

郷土岡山を大切にすること

の3点を掲げ、施策を推進します。

3. 基本目標

子どもたちに育みたい資質能力を踏まえ、次のとおり本県教育の基本目標を掲げ、目標の実現に向けて取組を進めます。

「心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成

4. 計画期間

本計画の期間は、令和3年度から令和6年度までの4年間とします。

振興基本計画の概要

5. 計画期間に取り組む施策

1 魅力ある学校づくりの推進

- (1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備
- (2) 不登校を生まない学校づくりの推進
- (3) 教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保
- (4) 就学前教育の質の向上
- (5) 活力ある小・中学校づくり
- (6) 高等学校段階における教育の充実
- (7) 特別支援教育の推進
- (8) 特色ある私立学校教育の支援
- (9) 大学等との連携
- (10) 子どもたちの安全の確保

2 学びのチャレンジ精神の育成

- (1) 夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進
- (2) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり
- (3) 国際的に活躍できる人材の育成
- (4) Society5.0に向けた人材の育成

3 家庭・地域の教育力の向上

- (1) 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着
- (2) 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成

- (1) 道徳教育を中心とした規範意識の確立
- (2) いじめや暴力行為等への対策の推進
- (3) スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応
- (4) 郷土愛の醸成
- (5) より良い社会づくりに参画する人材の育成
- (6) 子どもたちの体力の向上
- (7) 子どもたちの健康の保持増進
- (8) 人権教育の推進

5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

- (1) 生涯学習活動の推進
- (2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用
- (3) 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進

第3次岡山県教育振興基本計画の目標指標

★マークは、「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」にも掲げる目標指標（教育委員会関係）
最新値が令和4年度目標値を達成している指標については、目標値の見直しを行っている。

	項目	目標指標の概要	現況値 (年度)	最新値 (年度)	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値
1 魅力ある学校づくりの推進	子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備	公立小・中学校における学級がうまく機能しない状況が発生している学級数	9学級 (R1)	6学級 (R2)	8学級	8学級 →6学級	7学級 →6学級	7学級 →6学級
	不登校を生まない学校づくりの推進	★ 小・中・高等学校における不登校の出現割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差	+0.6人 (R1)	-1.6人 (R2)	+0.3人	+0.2人 →-1.6人	+0.1人 →-1.6人	+0.0人 →-1.6人
	教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保	★ 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差	小6 ▲1ポイント (H31.4調査)	±0ポイント (R3.4調査)	+1ポイント	+1ポイント	+1ポイント	+1ポイント
			中3 ±0ポイント (H31.4調査)	±0ポイント (R3.4調査)				
	★ 「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	小6 82.9% (H31.4調査)	83.8% (R3.4調査)	83.7%	84.2%	84.6%	85.0%	
		中3 73.9% (H31.4調査)	76.8% (R3.4調査)	74.7%	75.2% →77.0%	75.6% →77.5%	76.0% →78.0%	
	就学前教育の質の向上	就学前教育に関する研修への延べ参加人数	2,456人 (R1)	1,644人 (R2)	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人
	高等学校段階における教育の充実	高校生活に満足している生徒の割合	91.5% (R2)	90.4% (R3)	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%
	特別支援教育の推進	居住地校交流を実施した児童の割合（小学部）	36.8% (R1)	25.9% (R2)	38.0%	39.0%	40.0%	41.0%
	大学等との連携	おかやま子ども応援人材バンクの活用数	130件 (R1)	151件 (R2)	175件	200件	225件	250件
子どもたちの安全の確保	防災の基礎学習を実施している学校の割合	小 89.5% (R1)	95.0% (R3)	93.7%	95.8%	97.9%	100%	
		中 89.0% (R1)	92.2% (R3)	93.4%	95.6%	97.8%	100%	
		高 79.1% (R1)	83.8% (R3)	87.5%	91.7%	95.9%	100%	
2 学びのチャレンジ精神の育成	夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進	★ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6 65.9% (H31.4調査)	60.2% (R3.4調査)	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%
		中3 44.1% (H31.4調査)	41.2% (R3.4調査)	45.5%	47.0%	48.5%	50.0%	
		★ インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合	95.3% (R1)	94.1% (R2)	97.0%	98.0%	99.0%	100.0%
	子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり	★ 授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合	小6 72.1% (H31.4調査)	70.6% (R3.4調査)	72.3%	72.5%	72.7%	73.0%
			中3 64.6% (H31.4調査)	73.5% (R3.4調査)	66.4%	67.6% →74.0%	68.8% →75.0%	70.0% →76.0%
	国際的に活躍できる人材の育成	★ 授業以外で平日に全く又はほとんど学習しない生徒の割合（高等学校3年生）	18.8% (R1)	15.0% (R3)	17.2%	16.4% →15.0%	15.7% →15.0%	15.0%
			中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合	43.5% (R1)	43.5% (R1)	48.0%	52.0%	56.0%
		★ 高等学校3年生で英検準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合	46.8% (R1)	46.8% (R1)	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%
		★ 県立高校生の海外留学者数（※1）	380人 (H30)	2人 (R2)	110人	230人	310人	380人
	★ インターネットを介して海外の学校や大学等と直接交流をしている県立高校の数	7校 (R1)	21校 (R2)	25校	34校	43校	52校	
Society5.0に向けた人材の育成	★ 全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数	611人 (R1)	0人 (R2)	658人	682人	706人	730人	

	項目	目標指標の概要	現況値 (年度)	最新値 (年度)	R 3 目標値	R 4 目標値	R 5 目標値	R 6 目標値
3	家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着	家庭教育企業出前講座実施数（累計）	57件 (R1)	58件 (R2)	70件	80件	90件	100件
	地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進	地域学校協働活動推進員を委嘱している市町村数	8市町村 (R1)	15市町村 (R2)	17市町村	20市町村	23市町村	25市町村
4	★ 道徳教育を中心とした規範意識の確立	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合	小6 44.7% (H31.4調査)	44.7% (R3.4調査)	47.0%	48.0%	49.0%	50.0%
			中3 36.5% (H31.4調査)	43.4% (R3.4調査)	41.0%	44.0%	47.0%	50.0%
	★ いじめや暴力行為等への対策の推進	小・中・高等学校における暴力行為の発生割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差	+0.4件 (R1)	+0.4件 (R2)	+0.2件	+0.1件	±0.0件	±0.0件
	★ スマートフォン等青少年を取り巻く問題への対応	スマートフォン等の利用に関して「家庭のルールがある」と回答した児童生徒の割合	小6 61.9% (R1)	61.6% (R2)	63.2%	63.8%	64.4%	65.0%
			中3 49.4% (R1)	52.0% (R2)	51.7%	52.8%	53.9%	55.0%
	郷土愛の醸成	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	小6 70.7% (H31.4調査)	61.2% (R3.4調査)	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%
			中3 51.9% (H31.4調査)	46.0% (R3.4調査)	53.0%	54.0%	55.0%	55.0%
	★ より良い社会づくりに参画する人材の育成	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合	小6 55.0% (H31.4調査)	51.5% (R3.4調査)	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%
			中3 38.9% (H31.4調査)	45.4% (R3.4調査)	42.5%	45.0% →47.0%	47.5% →48.5%	50.0%
	★ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合（県立高校生）	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合（県立高校生）	61.3% (R2)	67.6% (R3)	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%
小男 70.7% (R1)			68.8% (R3)	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%	
★ 子どもたちの体力の向上	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	小女 54.1% (R1)	51.6% (R3)	55.5%	57.0%	58.5%	60.0%	
		中男 63.6% (R1)	63.1% (R3)	64.2%	64.5%	64.8%	65.0%	
		中女 49.1% (R1)	46.3% (R3)	49.5%	49.7%	49.9%	50.0%	
		小 85.1% (R2)	86.2% (R3)	87.6%	90.1%	92.6%	95.0%	
子どもたちの健康の保持増進	「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合	中 86.2% (R2)	87.0% (R3)	88.4%	90.6%	92.8%	95.0%	
		地域において人権教育・啓発を推進するために養成する指導者の数（累計）	532人 (R1)	582人 (R3)	582人	607人	632人	657人
5	生涯学習活動の推進	生涯学習大学の連携機関数	98機関 (R1)	83機関 (R2)	105機関	110機関	115機関	120機関
	文化創造活動の振興と文化財の保存・活用	県文化施設を活用した学校数（※1、2）	233校 (H30)	95校 (R2)	75校	145校	240校	240校
		文化財保存活用地域計画作成着手市町村数	2市町村 (R1)	4市町村 (R2)	3市町村	5市町村	8市町村	11市町村
	生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合（※2）	37.7% (R2)	37.4% (R3)	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%

(※1) 新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す目標指標

(※2) 知事部局所管の指標

小・中学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)

■指導主事等の派遣・相談

- ・学校経営アドバイザー等を派遣し、管理職のビジョンと戦略づくりを支援
→義務教育課学力向上対策班(086-226-7082)、
岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)、津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)
- ・指導主事を派遣し、授業改善や授業研究の充実に向け、市町村教育委員会や学校を支援
→義務教育課学力向上対策班(086-226-7082)
岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)、津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)
- ・学習指導、生徒指導、特別支援教育を柱に、学校のニーズに応じて継続的・統一的に課題改善の支援を実施
→岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)、津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)
- ・研修支援
市町村等に指導主事を派遣し、喫緊の教育課題及び時代の進展に対応した教育等について研修を行い、教員の指導力向上の支援を実施 →総合教育センター(担当:教育支援部(0866-56-9106))
- ・学校コンサルテーション
生徒指導上の諸問題や障害のある児童生徒への支援等について、効果的な対応策や校内体制の整備等を支援 →総合教育センター(担当:教育支援部(0866-56-9106))
- ・夢育アドバイザーの派遣
→教育政策課教育企画班(086-226-7571)

■学力向上の取組への支援

- 学力定着状況の把握と結果の活用支援(P.15) →義務教育課学力向上対策班(086-226-7082)
 - ・全国及び岡山県学力・学習状況調査
分析結果について、希望する教育委員会及び小・中学校への個別訪問による説明の実施
 - ・学力定着状況確認テスト・中間期学習状況調査
- 授業改善への支援(P.15-16) →義務教育課学力向上対策班(086-226-7082)
 - ・授業改革推進リーダー・推進員等による授業改善の推進と好実践の普及・拡大
 - ・学力調査官を招いての研修会
- 学力向上のための素材集、好事例の提供 →義務教育課学力向上対策班(086-226-7082)
 - ・長期休業中の課題集や学習到達度確認テスト、ふりかえりプリント集等を提供
- 基礎プリントの配信 →岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)
 - ・国語、算数・数学、英語の基礎的な学習内容の定着を図るプリントを配信
- 好事例等の配信 →津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)
 - ・学力向上、生徒指導等に関する好事例や指導資料を提供

■地域の力の活用

- 地域住民の参画による地域学校協働活動の取組の推進(P.47)
 - ・おかやま子ども応援事業
→生涯学習課社会教育班(086-226-7597)
岡山教育事務所生涯学習課(086-221-7776)、津山教育事務所生涯学習課(0868-24-8703)
 - ・おかやま子ども応援人材バンク →生涯学習センター学習相談(086-251-9758)
- コミュニティ・スクールの導入(学校運営協議会設置)に向けての支援
→義務教育課指導班(086-226-7584)、特別支援教育課指導班(086-226-7912)
→岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)
津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)、津山教育事務所生涯学習課(0868-24-8703)
- 小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやま まなびとサーチ」
→生涯学習課企画推進班(086-226-7596)

■子どもたちの体力向上への支援 →保健体育課学校体育班(086-226-7592)

- 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上(P.54)
 - ・小学校教員が苦手とする分野の体育授業への外部人材の派遣、小・中学校への指導主事の派遣
- 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供(P.55)
 - ・児童生徒の運動意欲の向上や運動習慣の定着に向けた支援
- 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進(P.16、55)
 - ・中学校部活動指導員の配置、「部活動方針」の実践を推進するための取組

岡山県教育委員会

学力向上に関すること : 義務教育課学力向上対策班
 問題行動等に関すること : 人権教育・生徒指導課生徒指導班
 特別支援教育に関すること : 特別支援教育課
 支援出先機関 : 教育事務所(岡山・津山)
 総合教育センター

市町村教育委員会

困ったときは、所管の市町村教育委員会に相談してください。県のサポートが受けられます。

■ G I G A スクール構想の推進 → 高校教育課教育情報化推進室(086-226-7826)

・教員のICT活用指導力の向上や、ICTを活用した授業づくり等に向けた支援を実施

■ 教職員の能力向上等

→ 総合教育センター(担当:企画部(0866-56-9102))

○ eラーニングで活用できる研修動画

・総合教育センターが制作した研修動画をホームページやYouTubeチャンネルで配信

■ 長期欠席・不登校対策への支援

→ 人権教育・生徒指導課生徒指導班(086-226-7589)

○ 未然防止の取組への支援(P.11-13)

・岡山型長期欠席・不登校対策スタンダードに基づく研修

・登校支援員・別室支援員の配置(小のみ)

・不登校対策別室指導実践研究

・スクールカウンセラー(SC)の配置

○ 登校に向けた支援(P.11-13)

・研修支援(再掲)

・SCの配置(再掲)

○ 家庭への支援(P.11-13)

■ スマホ・ネット問題への対応支援

→ 人権教育・生徒指導課生徒指導班(086-226-7589)

○ スマホ・ネット問題総合対策の推進(P.51)

・児童生徒の主体的な活動の促進

・教職員の指導力向上の促進

・家庭・地域への啓発活動の促進

■ 学校の荒れの解消への支援

○ 問題行動への対応支援(P.11-12)

・学級崩壊等への早期支援

・学級サポートチームの派遣

→ 人権教育・生徒指導課生徒指導班(086-226-7589)

・教育支援員・別室指導支援員の配置

→ 岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)

津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)

○ 家庭への支援(P.11-12)

・SSWの派遣(再掲)

■ いじめ問題への対応支援

○ 未然防止や個別事案への対応支援(P.49-50)

・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視やネット問題に関する相談

→ 人権教育・生徒指導課人権教育班(086-226-7612)

生徒指導班(086-226-7589)

・いじめ問題に関する相談・支援

→ 人権教育・生徒指導課生徒指導班(086-226-7589)

・心と命のサポート事業

→ 人権教育・生徒指導課人権教育班(086-226-7612)

■ 特別な支援を必要とする児童生徒への指導に関する支援 → 特別支援教育課指導班(086-226-7912)

○ 校内支援体制整備への支援(P.24-26)

・特別支援教育エキスパートの派遣 → 各特別支援学校

・通常学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりの実践ガイドを配信

・個別の教育支援計画等の作成、活用における好事例の普及

・医療的ケアを必要とする児童生徒への支援及び校内体制の整備等に対し、指導医を派遣し助言を実施

・長期療養児支援推進チーム員の派遣

■ 教職員の心身の健康管理支援 → 相談専用電話(086-235-8349)

○ ところどころからの健康相談

教職員の身体的・精神的な悩みについて、福利課保健師が相談に応じ、心身の健康に関するアドバイスや医療機関の情報提供等を実施(本人、家族、管理職からの相談が可能)

■ 上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援

○ 重大事態への対応の支援

・緊急危機支援チームの派遣、弁護士への法律相談(岡山型スクールロイヤー制度)

県立学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)

岡山県教育委員会

学力向上に関すること	： 高校教育課指導班 義務教育課
問題行動等に関すること	： 人権教育・生徒指導課生徒指導班
特別支援教育に関すること	： 特別支援教育課
支援出先機関	： 総合教育センター

■指導主事等の派遣・相談(中・中等・高・特)

- ・教科の指導や各領域の教育活動、教職員の研修など、学校の教育活動全般にわたって、学校運営を支援
→義務教育課指導班(086-226-7584)、高校教育課指導班(086-226-7585)、高校教育課職業指導班(086-226-7586)、特別支援教育課指導班(086-226-7912)
- ・研修支援
県立学校等に指導主事を派遣し、喫緊の教育課題及び時代の進展に対応した教育等について研修を行い、教員の指導力向上及び学校力の向上の支援を実施
→総合教育センター(担当：教育支援部(0866-56-9106))
- ・学校コンサルテーション
生徒指導上の諸問題や障害のある児童生徒への支援等について、効果的な対応策や校内体制の整備等を支援
→総合教育センター(担当：教育支援部(0866-56-9106))
- ・夢育アドバイザーの派遣
→教育政策課教育企画班(086-226-7571)

■学力向上の取組への支援

→高校教育課指導班(086-226-7585)

○基礎基本の徹底に向けた取組(P.37)

- ・高校生の学力状況の分析

○思考力等の育成に向けた取組(P.37)

- ・生徒の学びの場の提供
- ・合同学習合宿の実施

■GIGAスクール構想の推進

→高校教育課教育情報化推進室(086-226-7826)

- ・教員のICT活用指導力の向上や、ICTを活用した授業づくり等に向けた支援を実施
- ・情報機器やネットワークに関する教職員への技術的な支援を実施(ICT支援員の派遣等)

■特別な支援を必要とする児童生徒への指導に関する支援 →特別支援教育課指導班(086-226-7912)

○県立学校における特別支援教育の充実(P.24-26)

- ・特別支援教育エキスパートの派遣(中・中等・高) →各特別支援学校
- ・通級による指導の実施(高)
- ・就労支援コーディネーターの派遣(中等・高・特)
- ・個別の教育支援計画等の作成、活用における好事例の普及(中・中等・高)
- ・長期療養児支援推進チーム員の派遣(中・中等・高)

■地域の力の活用(中・中等・高・特)

○地域住民の参画による地域学校協働活動の取組の推進(P.47)

- ・おかやま子ども応援人材バンク →生涯学習センター学習相談(086-251-9758)

○コミュニティ・スクール(学校運営協議会設置)に向けての支援

→高校教育課高校魅力化推進室企画推進班(086-226-7825)

■子どもたちの体力向上への支援 →保健体育課学校体育班(086-226-7592)

○楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上(P.54)

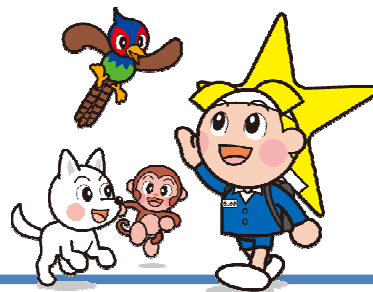
- ・希望する学校へ指導主事を派遣し、授業改善をサポート(中・中等)

○子どもたちが達成感を感じられる機会の提供(P.55)

- ・児童生徒の運動意欲の向上や運動習慣の定着に向けた支援(中・中等・高・特)

○生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進(P.16、55)

- ・部活動指導員の配置、「部活動方針」の実践を推進するための取組(中・中等・高・特)



©岡山県マスコット ももっち

■教職員の能力向上等（中・中等・高・特）

- eラーニングで活用できる研修動画 →総合教育センター（担当：企画部（0866-56-9102））
・総合教育センターが制作した研修動画をホームページやYouTubeチャンネルで配信

■問題行動等の解消へ向けた支援

- 未然防止の取組への支援（P.49-50, 58-59）
 - ・県立学校人権教育サポート事業（中・中等・高・特）→人権教育・生徒指導課人権教育班（086-226-7612）
 - ・心と命のサポート事業（中・中等・高・特）→人権教育・生徒指導課人権教育班（086-226-7612）
- 問題行動への対応の支援（P.11-12, 24）
 - ・思春期サポート事業（中等・高）→人権教育・生徒指導課生徒指導班（086-226-7589）
 - ・学級崩壊等への早期支援（中・中等）→人権教育・生徒指導課生徒指導班（086-226-7589）
 - ・学級サポートチームの派遣（中・中等）→人権教育・生徒指導課生徒指導班（086-226-7589）
 - ・特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業（特）→特別支援教育課指導班（086-226-7912）
- 家庭への支援（P.11-13, 24）
 - ・SSWの派遣（中・中等・高）→人権教育・生徒指導課生徒指導班（086-226-7589）
 - ・特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業（特）→特別支援教育課指導班（086-226-7912）

■スマホ・ネット問題への対応支援

→人権教育・生徒指導課生徒指導班
（086-226-7589）

○スマホ・ネット問題総合対策の推進（P.51）

- ・児童生徒の主体的な活動の促進（中・中等・高）
- ・教職員の指導力向上の促進（中・中等・高・特）
- ・家庭・地域への啓発活動の促進（中・中等・高・特）

■いじめ問題への対応支援（中・中等・高・特）

○未然防止や個別事案への対応支援（P.49-50）

- ・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視やネット問題に関する相談
→人権教育・生徒指導課人権教育班（086-226-7612）
生徒指導班（086-226-7589）
- ・いじめ問題に関する相談・支援
→人権教育・生徒指導課生徒指導班（086-226-7589）
- ・心と命のサポート事業（再掲）
→人権教育・生徒指導課人権教育班（086-226-7612）

■教職員の心身の健康管理支援（中・中等・高・特）

○こころとからだの健康相談 →相談専用電話（086-235-8349）

教職員の身体的・精神的な悩みについて、福利課保健師が相談に応じ、心身の健康に関するアドバイスや医療機関の情報提供等を実施（本人、家族、管理職からの相談が可能）

○過重労働による健康障害防止のための面接指導 →福利課健康管理班（086-226-7604）

時間外労働時間が月80時間又は2ヶ月平均月80時間を超過する場合や健康面で不安を抱える等の場合は、所属長への申し出により職場の産業医等による面接指導を実施。また希望により福利課保健師による健康相談を実施

■上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援（中・中等・高・特）

○重大事態への対応の支援

- ・緊急危機支援チームの派遣、弁護士への法律相談（岡山型スクールロイヤー制度）

施策の概要

- 以下は、第3次岡山県教育振興基本計画の体系に沿って、それぞれの施策ごとに実施する事業を整理しています。
- 校種等については、略称で記載しており、その凡例は次のとおりです。

保：保育所	幼：幼稚園	こ：認定こども園	小：小学校	中：中学校
中等：中等教育学校	高：高等学校	特：特別支援学校	教委：教育委員会	

1 魅力ある学校づくりの推進

(1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備

子どもたちが落ち着いた授業環境で意欲的に学ぶことができるよう、学習意欲や学級集団の意識を高める取組の推進、学び合う集団の育成、学習の基盤となる授業規律の確保に努めるとともに、生徒指導対応等のための教員や支援員などの効果的な配置・活用等を図ることにより、魅力ある学校づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
授業規律の確立		「岡山型学習指導のスタンダード（増補版も含む）」の徹底			
		市町村の保幼小接続カリキュラムの実施・改善のための取組の支援			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
小1グッドスタート支援事業	小	小学校第1学年の児童数が30人以上の学級に、地域の人材を活用した支援員を配置し、基本的な生活習慣の確立や基礎学力の向上を図り、学校生活を円滑にスタートできるようにする。			72,252
就学前教育推進プロジェクト	保、幼こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。			4,613

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
落ち着いた学習環境づくりへの支援		生徒指導体制の確立・充実に向けた関係機関との連携			
		専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の活用			
		学級崩壊等の解消に向けた支援員等の派遣			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
スクールカウンセラー（SC）配置事業 拡充	小、中 中等	公立全小中学校にSCを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー（SV）による指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。 【拡充内容】年間派遣10回未満の学校を解消			148,734
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業 拡充	小、中 中等、高	公立全小中高等学校を担当SSWが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。 【拡充内容】SSWは全員有資格者を任用			172,551

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
思春期サポート事業	中等、高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。	14,234
学級サポートチーム派遣事業	小、中 中等	学級がうまく機能しない状況がある公立小中学校に対して、保健福祉等の専門家による専門指導員（学級サポートリーダー）を派遣するとともに、教育支援員を一定期間配置し、問題解決を支援する。	14,475
学級崩壊等早期対応事業	小、中 中等	問題行動が見え始めた学校に、警察OBと教員OBのペアによる集中指導員等を一定期間継続的に派遣し、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	46,588

(2) 不登校を生まない学校づくりの推進

長期欠席・不登校対策スタンダードに基づく、不登校対策担当教員を中心とした学校の組織的な対応、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家の活用や関係機関との連携を推進し、子どもたちの個々の状況に応じた学習支援や生活支援を徹底することで、誰もが安心して通える、長期欠席・不登校等を生まない魅力ある学校づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校の組織的対応力の向上		長期欠席・不登校対策スタンダードの徹底			
		不登校対策別室指導の実践研究（ICTの活用等） 県内への普及			
R 4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業	小	小学校において、不登校対策担当者を中心とした長期欠席・不登校対策に係る対応のシステム化を推進し、学校訪問や研修等によって、組織的な対応力を向上させるとともに、登校支援員の家庭に対する登校アプローチや別室支援員による別室対応などにより、長期欠席・不登校傾向にある児童への支援を行い、長期欠席・不登校の抑制を図る。			90,949
長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底	小、中 中等、高	「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」や「起立性調節障害対応ガイドライン」等の活用を全県で徹底する。			- (運営費で対応)
不登校対策別室指導実践研究 拡充	小、中	また、小学校9校に市町村費の専属教員を1名配置した専用教室を、中学校19校に専属教員と支援員を各1名配置した専用教室を設置し、教室復帰に向けた学習指導、生活支援等を行うことで、長期欠席・不登校の解消を図る。 【拡充内容】専用教室：小学校 6校 → 9校 中学校 11校 → 19校			- (運営費で対応)
別室指導普及事業 新規	小、中	県下に別室指導の成果を普及し、別室の設置拡大につなげるため、別室指導推進員を派遣し、設置及び運営に対する支援を図る。			4,606

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
専門家の活用や関係機関等との連携の促進		専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の活用（再掲）			
		不登校関係機関等との効果的な連携			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業（再掲）	小	小学校において、不登校対策担当者を中心とした長期欠席・不登校対策に係る対応のシステム化を推進し、学校訪問や研修等によって、組織的な対応力を向上させるとともに、登校支援員の家庭に対する登校アプローチや別室支援員による別室対応などにより、長期欠席・不登校傾向にある児童への支援を行い、長期欠席・不登校の抑制を図る。			90,949
長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底	小、中等、高	「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」や「起立性調節障害対応ガイドライン」等の活用を全県で徹底する。			- (運営費で対応)
不登校対策別室指導実践研究 拡充	小、中	また、小学校9校に市町村費の専属教員を1名配置した専用教室を、中学校19校に専属教員と支援員を各1名配置した専用教室を設置し、教室復帰に向けた学習指導、生活支援等を行うことで、長期欠席・不登校の解消を図る。 【拡充内容】専用教室：小学校 6校 → 9校 中学校 11校 → 19校			- (運営費で対応)
スクールカウンセラー（SC）配置事業（再掲） 拡充	小、中等	公立全小中学校にSCを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー（SV）による指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。 【拡充内容】年間派遣10回未満の学校を解消			148,734
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業（再掲） 拡充	小、中等、高	公立全小中高等学校を担当SSWが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。 【拡充内容】SSWは全員有資格者を任用			172,551
思春期サポート事業（再掲）	中等、高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。			14,234
社会的自立サポート事業	小、中等、高 教委 保護者	教育支援センター・おかやま希望学園・フリースクール等の関係機関相互の効果的な連携の在り方に関する研究等を行い、不登校児童生徒の社会的自立を支援する。			703

長期欠席・不登校対策

(R6目標) 不登校出現割合を全国平均値以下にする

(現況) R2: -1.6

長期欠席・不登校対策

対象

欠席が30日以上
の長期欠席・不登校児童生徒

重点的支援

欠席が10〜29日の児童生徒

早期対応

すべての児童生徒

未然防止

拡 スクールカウンセラー配置事業

- 全公立小中学校への配置（年間派遣10回未満の学校を解消）
- スーパーバイズによる経験の浅いSCの資質向上や対応力の強化



◆思春期サポート事業

- 高校における不登校等の支援充実のための教育相談体制の強化
勤務日数 10日/年
(職員研修、自殺予防教育、いじめ予防教育等の研修も含む)

拡 スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業

- 複雑な家庭環境や本人の特性等への対応支援の充実
- 有資格であるSSW(25名)を県下12ブロックに配置し、早期からの支援、新たな課題にも対応

拡 不登校対策別室指導実践研究

【中学校】(11校 ▶ 19校)

専用教室に専属教員と支援員(市町村費)をそれぞれ1名配置

【小学校】(6校 ▶ 9校)

専用教室に専属教員(再任用)を1名配置

◆別室指導の設置・運営への支援を行う推進員を配置

登校できているが
教室に入りにくい児童生徒

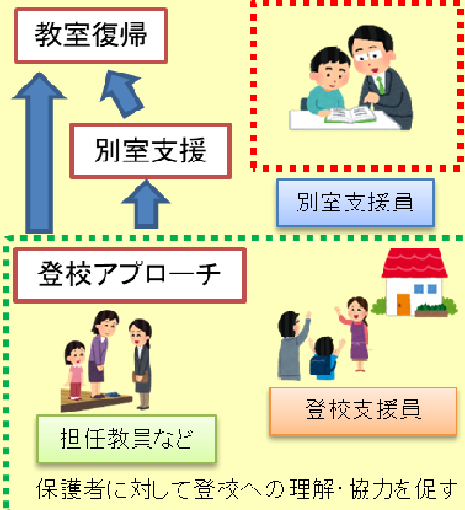


◆児童生徒と『つながり』を切らないためのICTを活用した不登校対策



(長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底事業)

◆小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業



不登校対策担当者(生徒指導主事等)が中心となってコーディネートを行い、組織的な長欠・不登校対策へ

◆『岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード』に基づく対応の徹底

- 7段階の状態評価の導入による児童生徒一人ひとりの状態に応じた対応
- 支援対象者リス、等による長期欠席・不登校に関する情報の一元化・可視化の推進
- 『スタンダード増補版』を活用した、別室指導やICTの活用による不登校対策を推進

夢や目標の具現化に向けた自己存在感・充実感を感じられる学校・学級づくり

◎授業改善の推進・・・意欲と自信、主体性を育む授業づくり

◎道徳・特別活動の充実・・・活躍できる場、話し合い活動や体験活動の充実による人間関係づくりの推進

(3) 教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保

子どもたち一人ひとりの学習状況を的確に把握し、習熟度別指導など個に応じたきめ細かい指導や、探究的な学びを充実します。また、校長のビジョンと戦略に基づく学校経営を支援し、学力向上等に向けた学校の組織的な対応力の向上を図るとともに、授業力が高く、新たな教育課題に対応できる、不断に学び合う教員を育成します。

また、教職員の長時間勤務の改善のため学校現場の働き方改革を推進し、生み出した時間で多様な経験を積むことで、教育の効果を高めるとともに、職場における教職員の安全の確保及び健康の保持増進、働きやすい職場環境づくり等の取組の充実を図ります。

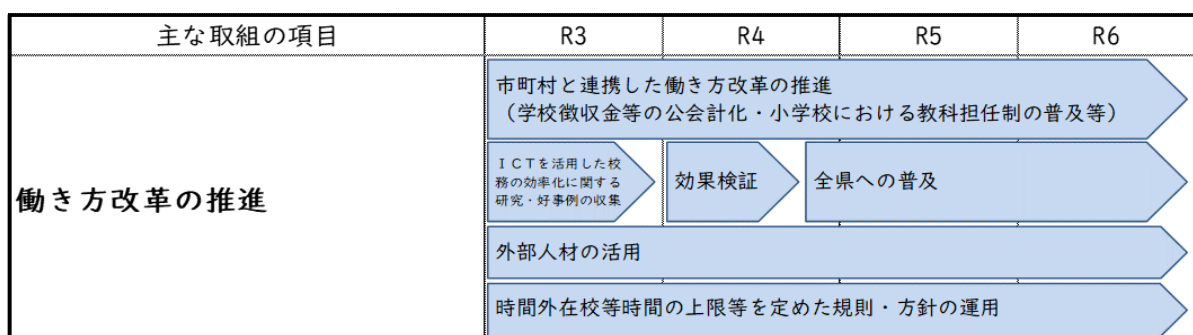
さらに、教職員には、強い使命感や社会性、実践的指導力など、様々な教育課題に適切に対処できる資質能力が求められるため、人間性豊かで自身が夢や目標を持ち、学び続ける魅力ある人材の確保や、採用後研修の充実、適切な人事管理等を行います。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学力状況の把握		学力・学習状況の調査、調査結果の分析活用			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
岡山県学力・学習状況調査	小、中等、特	小学校第3～5学年、中学校第1～2学年を対象に学力・学習状況調査を実施し、全国の同学年と比較した学力状況等を把握するとともに、学年毎の経年変化を追跡・分析し、授業改善や個に応じたきめ細かい指導に活用する。 結果分析により、学習指導上の課題や学力向上施策の効果を検証し、施策の改善を図る。			63,609
学力定着状況確認テスト	小、中	小学校第4学年～中学校第2学年を対象に、全国学力調査における活用型の学力を測る問題を提供し、秋の段階での学力状況を確認することで、各学年で身に付けるべき学習内容の年度末までの確実な定着を図る。			4,960

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校経営の支援		学校経営アドバイザー等による学校訪問 指導主事の派遣による授業改善等の支援			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
学校経営力向上支援事業 拡充	小、中	学校経営に優れた校長経験者を学校経営アドバイザーとして学校へ派遣し、校長の学校経営を支援し、学校の組織力の向上を図るとともに、教員の授業力の向上を図る。 【拡充内容】学校経営アドバイザーを増員			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
教師の授業力の向上		指導主事の派遣による授業改善等の支援(再掲) 授業改革推進リーダー・推進員の配置 小学校における専科指導の充実 中学校における「タテ持ち」の研究・普及 「岡山型学習指導のスタンダード(増補版も含む)」の徹底(再掲)			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
岡山大学・香川大学教職大学院への派遣	小、中等、高、特	大学、県市町村教育委員会との緊密な連携の下、現職教員を教職大学院へ派遣し、大学院での本県教育課題の解決に資する政策課題の研究を通して、中核的教員の育成と本県教育の充実を図る。			7,614

R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)
ICT支援員配置事業	県立学校	授業でのICT活用や、機器等の管理運用などの業務への対応のため、県立学校全校への巡回支援、コールセンター（ヘルプデスク）及びクラウド活用サポートデスクの設置を行う。	77,188
ICT活用指導力レベルアップ推進事業 新規	県立学校	管理職・ICT活用推進リーダー・教職員それぞれの職務・課題に応じた研修・支援を充実させることで、全県立学校のICT活用指導力のレベルアップを図る。	3,267
授業改革推進リーダー・授業改革推進員の配置 拡充	小、中	高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を所属校のみならず、他校・地域に派遣して県下の授業改善の一層の推進を図るため、授業改革推進リーダー、授業改革推進員を小中学校に配置し、地域の授業改善や校内指導体制の確立を進め、教科指導力の向上を図る。 【拡充内容】チーム数を拡充	- (運営費で対応)
授業改革支援事業	小、中	学力の向上に向け、学力調査官を招聘した研修会を開催するとともに、先進県等への中核教員の派遣等により、授業改善や教員の指導力向上を推進する。	10,860
教科指導支援事業	小、中	教科指導力の向上のため、中学校において、教科担当教員が複数学年を担当する「タテ持ち」を研究する研究推進校を指定し、その成果を県内に普及する。	
英語教員指導力向上事業	中	指導力のある退職教員等を中学校に継続的に派遣し、英語の授業の充実に向けた指導・助言を行い、若手教員の指導力向上を推進する。	
外部機関と連携した指導力向上事業	小、中	民間塾等から児童生徒の興味を惹きつける指導法などを学び、教員の意識改革・指導力向上を図る。	



R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)
業務改善加速事業	小、中 中 高、特	コンサルタントによるWeb研修等により、各学校において時間外業務時間の多い教員の業務について分析し、状況に即した負担軽減の取組を進め、時間外業務の縮減を図る。	1,718
教師業務アシスタント配置事業	小、中 中	印刷や調査統計などの教員が抱える事務作業等を支援する非常勤のアシスタントを配置し、教員が本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。	152,095
部活動指導員配置事業 拡充	中、中 高、特	教員に代わって部活動指導を行う指導員を配置することにより、教員の負担軽減と部活動の充実、活性化を図る。 【拡充内容】市町村立学校配置数 135人→142人 県立学校配置数 17人→25人	45,479
労働安全衛生管理の充実	県立学校 教育機関 本庁	教職員の健康障害及び労働災害の防止に向け、各所属へ産業医を配置し、職場巡視や長時間勤務者への面接指導を実施する等、労働安全衛生管理体制の充実を図る。また、総括安全衛生委員会及び研修会の開催等により、管理監督者及び担当者の安全配慮に関する意識の向上や衛生委員会の活性化等、所属における取組を支援する。	32,913

学 ぶ 力 の 育 成

児童生徒が発達段階に応じた夢や目標の具現化に向け、学習を通して「学ぶ意義」を感じ、自らを見つめつつ、己の力を高めるため、他者や地域とつながりを築きながら、意欲と自信、主体性を育む教育の実現を目指す。

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合
 小6 60.2% 中3 41.2% (2020(R2))
 → 小6 **70.0%** 中3 **50.0%** (2024(R6))

全国平均正答率との差 (全国学力・学習状況調査)
 小6 0.0 P 中3 0.0 P (2020(R2))
 → 小6 **1.0 P** 中3 **1.0 P** (2024(R6))

【全国学力・学習状況調査】【岡山県学力・学習状況調査】【学力定着状況確認テスト】

新 岡山型課題解決型学習(PBL)ガイドブック作成事業

- 岡山型PBLの考え方や学習過程をまとめたガイドブックの作成・周知

新 「君に届け！」夢への架け橋事業

- 各方面で活躍する方から子どもたちの夢への実現に向けたメッセージ動画の作成・発信

新 おかやま夢発信・交流事業

- PBL等の取組を発信・オンラインで交流する場(おかやま学びたい賞・フォーラム)の提供

夢を育む教育・キャリア教育の推進

学びに向かう力・人間性等の涵養

確かな学力の育成 学ぶ意欲の向上

知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力等の育成

主体的な学びの支援・充実

教員の指導力向上

重点

主体的な学びの基盤づくり事業

- 学習内容の確実な定着に向け、放課後等の補充学習に支援員を配置(小学校180校・中学校60校)
- 「家庭学習のスタンダード」等の活用による家庭学習習慣の定着

ICTを活用した指導の充実

- 「教科等におけるICT活用事例集」に基づいた授業実践等、好事例の普及
- 教員研修の充実と学校情報化認定等の促進

補充学習の充実

授業とつながる

補充学習・家庭学習によるサイクルとフィードバックの推進

家庭学習の充実

授業改善の推進

拡 授業改革推進チームの配置

- 高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を他校・地域に派遣し、県下の授業改善を一層推進(チーム数を拡充)

教科指導支援

- 小学校における専科指導の充実
- 中学校における教科の「タテ持ち」の研究
- 県教委指導主事の派遣による授業改善支援

他県の実践から学ぶ

- 先進県等への教員派遣及び派遣した教員から他県の実践を学ぶ機会の提供

学校経営力の強化

拡 学校経営力向上支援事業

- 学校経営アドバイザー等が市町村教委と協働して県内全ての小・中学校を年複数回訪問、管理職のビジョンと戦略を支援(学校経営アドバイザーを増員)

教員が指導に専念できる時間の創出

教師業務アシスタント配置事業

- 教員の事務作業を軽減するため、非常勤の教師業務アシスタントを配置(市町村立学校157校・県立学校4校)

部活動指導員配置事業

重点

- 教員の負担軽減等のため、教員に代わって部活動指導を行う指導員を配置(市町村立学校142校・県立学校25校)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
教職員の健康管理		労働安全衛生管理体制の整備や取組の充実 県立学校・県教育機関に配置した産業医の活用推進 教職員の健康障害・労働災害防止のための未然防止・早期対応の取組の充実（過重労働・生活習慣病・メンタルヘルス）			
		R4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
労働安全衛生管理体制の充実（再掲）	県立学校教育機関本庁	教職員の健康障害及び労働災害の防止に向け、各所属へ産業医を配置し、職場巡視や長時間勤務者への面接指導を実施する等、労働安全衛生管理体制の充実を図る。また、総括安全衛生委員会及び研修会の開催等により、管理監督者及び担当者の安全配慮に関する意識の向上や衛生委員会の活性化等、所属における取組を支援する。			32,913
「からだ」の健康管理対策	小、中 中等 高、特 教育機関 本庁	生活習慣病に関する健康情報の提供や健康づくりセミナーの実施等により教職員の健康の保持増進を図る。また、早期発見・早期対応・早期治療により疾病の発症や重症化予防を図るため、定期健康診断・人間ドック・器官別健診・特定保健指導等を実施する。			94,444 (共:校正時入力) (互:校正時入力)
「こころ」の健康管理対策	小、中 中等 高、特 教育機関 本庁	ストレスチェックの実施や研修会の開催等により、セルフケアや管理監督者による適切なラインケアを促進し、精神疾患等の未然防止を図る。また、早期発見・早期対応・早期治療により、精神疾患等の重症化予防を図るため、精神科医・臨床心理士・教員OB等の各種相談窓口を設置する。			13,692 (共:校正時入力)
休職者の職場復帰対策 (円滑な復職・再発防止対策)	小、中 中等 高、特 教育機関 本庁	「岡山県教職員健康診断審査委員会」において、休職・復職等に際しての健康状態の診断及び審査等を実施し、適切な健康管理に万全を期する。また、精神疾患等による休職者に対しては、「岡山県教職員復職支援システム」に基づき、復職の際の「復職プログラム」の実施等、休職中から復職後まで所属における職場復帰の取組を支援する。			3,155

※ 共：公立学校共済組合岡山支部 互：(一財)岡山県教育職員互助組合 で予算措置

メンタルヘルス対策の概要

【一次予防(心の健康の保持増進・未然防止)】

○知識の習得・意識の向上・同僚性の形成

職場内研修・研修講座の受講

- ・コンプライアンス研修グループ協議の活用
- ・職場の健康づくり研修会支援事業
- ・産業医による健康教育
- ・初任者研修
- ・管理職研修
- ・教職員が支え合う風土づくり研修講座
- ・コミュニケーションスキルアップ講座



○実践

セルフケア

- ・ストレスコントロール、ストレスチェック制度の活用
- ・こころの体温計
- ・各種相談窓口の活用

組織対応

- ・管理監督者によるラインケア(見守り・声かけ、傾聴、つなぐ)
- ・教職員が互いに支え合う職場づくり
- ・気軽に悩み、困りごとを相談できる体制づくり
- ・ストレスチェック集団分析結果活用による職場環境改善
- ・コミュニケーションの活性化
- ・コンプライアンス研修グループ協議の活用(再掲)
- ・職場の健康づくり研修会支援事業(再掲)

【二次予防(早期発見・早期治療)】

各種相談窓口

- ・こころとからだの健康相談
- ・教職員ストレス相談
- ・教職員よろず相談
- ・教職員を支える会
- ・スクールカウンセラー等を活用した教職員むねヘルス相談
- ・管理職相談窓口

【三次予防(職場復帰、再発防止)】

岡山県教職員復職支援システム

- ・休職中の支援
- ・復職プログラムの実施
- ・復職後の支援
- ・主治医や産業医等との連携
- ・福利課保健師への相談



主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
魅力ある人材の確保等		人物重視の採用の在り方や多様な選考方法についての研究			
		人材育成方針に基づく総合教育センター等での研修の充実			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
公立学校教員採用試験	大学生 一般	優れた人材を確保できるよう、岡山県公立学校教員採用候補者の選考資料とするため、公立学校教員採用試験を実施する。			7,283
「教師への道」インターンシップ事業	大学生	教職を目指す大学生が学校現場での教育活動の体験を通じて学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける機会を提供する。			- (運営費で対応)
岡山県・岡山市教員等育成協議会	-	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。			224

岡山県教員等育成指標に基づく、教員等のキャリアステージに応じた資質能力向上のための研修計画（概要）

若手教員（基礎的資質能力形成期）

- ◆若手教員と先輩教員が共に育つ研修
- ◆「岡山型学習指導のスタンダード」の活用徹底
- ◆障害についての基礎的理解
- ◆ICTを活用した授業づくり（GIGAスクール構想の実現）
- ◆異業種からの学び
- ◆生徒指導・教育相談の基本的スキル
- ◆喫緊の課題等

中堅教員（実践的指導力向上・充実・発揮期）

- ◆若手教員と先輩教員が共に育つ研修、校種の異なる学校や企業との連携等
- ◆新しい学びを推進するための指導力の向上
- ◆特別な教育ニーズに対応した授業づくり
- ◆障害のある幼児児童生徒理解を深めるアセスメント
- ◆ICTを効果的に活用した授業づくり、情報モラル指導力の向上（GIGAスクール構想の実現）
- ◆学校課題解決のための力量向上
- ◆組織的な授業改善の推進
- ◆喫緊の課題等
- ◆生徒指導・教育相談のスキルアップと体制づくり

ミドルリーダー

- ◆学校経営企画力や学校全体の授業改善を推進する力の向上
- ◆生徒指導の校内組織マネジメント
- ◆特別支援教育推進のための校内支援体制づくり
- ◆教育の情報化を推進する体制づくり（GIGAスクール構想の実現）

ベテラン教員（総合力発揮期）

- ◆指導力や指導技術の伝承
 - ・魅力ある授業づくりや学校全体の授業力向上
 - ・生徒指導の体制の充実・強化
 - ・OJTの推進 等
- ◆喫緊の課題等

校長、副校長・教頭

- ◆計画的な人材育成の推進
- ◆組織的な校内研修の推進
- ◆コンプライアンス研修
- ◆多様な人材を有効活用するマネジメント力の向上

自己研鑽・OJT・校内研修

(4) 就学前教育の質の向上

幼児期は、人格形成の基礎が培われる重要な時期であることから、幼稚園、保育所及び認定こども園の教職員等を対象にした研修の充実や市町村への支援等により、就学前教育における保育・教育の質を一律に向上させることで、就学前の子どもの生活習慣等の確立や、生涯にわたる学びの基礎となる学びに向かう力や非認知能力の涵養を図ります。

また、関係部局との連携により、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の普及等を促し、就学前の教育と保育を総合的に提供するなど、3歳児を含めた就学前教育の選択の幅を広げます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
教職員等の資質能力の向上		教職員等を対象とした研修の充実・支援			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
就学前教育推進プロジェクト(再掲)	保、幼小、小教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。			4,613
就学前の非認知能力育成支援事業	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。			1,164

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
小学校教育への円滑な接続		市町村の保幼小接続カリキュラムの実施・改善のための取組の支援(再掲)			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
就学前教育推進プロジェクト(再掲)	保、幼小、小教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。			4,613
就学前の非認知能力育成支援事業	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。			1,164

(5) 活力ある小・中学校づくり

地域との協働関係を生かし、地域の実情を踏まえた魅力あるカリキュラムの導入等について支援を行います。また、設置者である市町村が学校の適正規模化や学校種間の連携の在り方等を検討するに当たって、ニーズや実情を踏まえた指導・助言を行うとともに、学校統合を行う場合や小規模校を存続させる場合等について支援を行います。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
地域の実情を踏まえた活力ある学校づくり		コミュニティ・スクールの導入・充実にする支援			
		小中一貫教育の導入、義務教育学校の設置に関する指導・助言			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
岡山型課題解決型学習(PBL)ガイドブック作成事業 新規	小、中等	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付し、身近な地域を学び場として、児童生徒の主体性を生かしながら、自ら課題設定や解決に向けての道筋を考えさせる学習を推進する。			1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業 新規	小、中等	小・中学生に向けた各方面で活躍する方からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに引き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。			5,951
おかやま夢発信・交流事業 新規	小、中等	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「『遠くとTALK』チャレンジ」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。			946
中学校夜間学級調査研究事業	教委	義務教育未修了者や不登校経験者等の教育機会の確保に向け、中学校夜間学級等の学び直しの場の提供について、市町村教委や関係機関等と情報共有・調整を行うとともに、先進事例を調査する。			451
学校における「地域連携担当」の活動推進	小、中等、特	教員に対して担当者研修会の実施及び教育支援活動に関する情報提供の機会を設け、地域との結びつきを大切にした開かれた学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。			- (運営費で対応)

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
小規模小・中学校への支援	全体的な人事配置、小規模校や複式学級支援のための教員配置			

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
学校の再編を検討・実施する市町村への支援	市町村訪問等によるニーズの把握や指導・助言、情報収集・提供			
	再編に伴う教員加配			

(6) 高等学校段階における教育の充実

生徒数の減少が進む中、学習環境の維持向上を図り、学校の活力を高めていくことができるよう、県立高等学校の魅力化・活性化に取り組みながら再編整備に向けた検討を行います。県立高等学校の教育体制の整備に当たっては、時代の変化に対応した新しい教育内容の研究や学校ICT環境をはじめとした施設・設備の整備を進め、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動など、地域や地元自治体・大学等との連携・協働を推進することで、時代の変化に対応した人材育成に資する、魅力ある高等学校づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
魅力ある高等学校づくりの推進		時代の進展や社会のニーズに対応した魅力づくりの推進			
		コーディネーターの配置等による留学や姉妹校交流、ICTを活用した国際交流の促進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
学校経営予算	中、中等 高	校長が弾力的に運用できる予算制度として、校長の裁量権を発揮させることで各学校の教育目標の達成を図る。 学校規模等に応じて配分する「基本配分枠」、県が設定した教育課題に取り組む「重点事業枠」により、各学校の事業を推進する。			63,870
おかやま高校生地域未来創造事業	中等、高	高校生が中山間地域等において地域の課題解決に取り組むことにより、地域への愛着心醸成と地域貢献の意欲向上を図り、中山間地域で活躍する次代の人材を育成する。			5,000 (県民生活部 予算)
合同学習合宿の実施	中等、高	学校の垣根を越えた学びの場を提供し、リーダー育成を図る。			1,888
スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業	高	環境教育を重点的に行う学校を指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気づき、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図る。			5,000
オンライン国際交流コーディネーター配置事業 新規	中等、高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学者数の増加に繋げる。			1,300
高校生留学支援事業	中等、高	留学促進のための講演会や留学相談会を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一部を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進を図る。			17,782

R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)
高校と地域で創る 未来の学びプロ ジェクト <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	高	高校と自治体の更なる連携強化等により、小規模校等の更なる魅力化・特色化を進め、県内外からの志願者増を図る。 ○指定校 ・全国募集の要件を満たす県立高校のうち、既に地元自治体から一定の支援を得ている3校を指定校とする。 ・外部団体等の支援によるカリキュラム開発等。 ○準指定校 ・高等学校魅力化推進事業リージョナルモデルの第2期以降の高校及び令和4年度に新たに1学年3学級規模となる高校を準指定校とする。 ・コーディネーター及び地域連携組織の設置による地域連携の強化。	14,694
学校評議員の設置	県立学校	学校運営や教育内容について保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるため、県立学校において学校評議員制度の充実を図る。	3,000
コミュニティ・スクールの導入	県立学校	保護者や地域住民、学識経験者等の構成委員が一定の権限を持ち、学校運営や必要な支援に関して協議を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育の提供を目指す。	1,967
高校生探究フォーラム	中等、高	総合的な探究の時間や課題研究等で、外部との連携等を通して特色ある取組を実施している学校の教育活動を共有し今後の取組の参考とするとともに、企業や大学の関係者を招くことで高校生に実社会とのつながりを持たせることを目的とし、ステージ発表及びポスターセッションを実施する。	3,577
学校における「地域連携担当」の活動推進（再掲）	県立学校	担当者研修会の実施及び教育支援活動に関する情報提供の機会を設け、地域との結びつきを大切にされた開かれた学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。	- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
県立高等学校の教育体制整備					
R 4 の取組	校種等	内容			予算額(千円)
高等学校教育体制整備研究推進事業	高	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(H31.2.15)に基づき、高等学校教育体制整備を推進する。			258

(7) 特別支援教育の推進

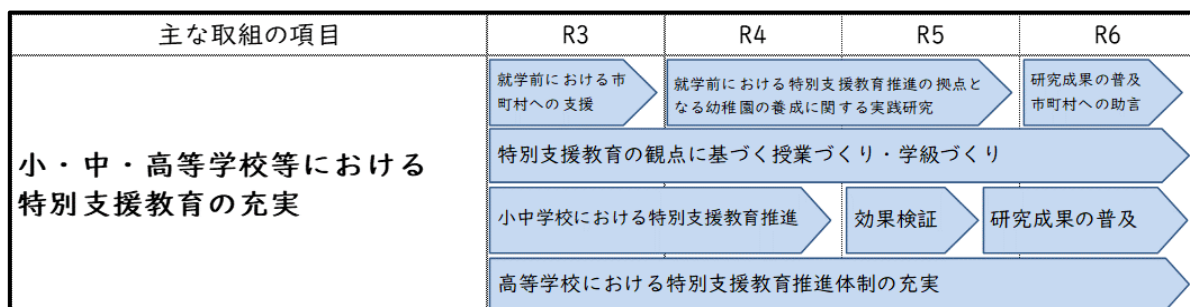
特別支援学校においては、複数の障害種に対応した適切な教育ができる体制の整備や子どもたちへの適切な指導・支援の充実を図るほか、早期からのキャリア教育の推進や域内の特別支援教育を支えるセンター的機能の一層の充実を図ります。

また、小・中・高等学校等においては、子どもたちの達成感、自己肯定感及び学習意欲を高めるため、特別支援教育の観点に基づく授業づくりや学級づくり、ICTの効果的な活用などを通じ、発達障害を含めた特別な支援を必要とする一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実や教職員の指導力の向上を図るとともに、就学前から卒業後までを一貫して支援できるよう関係機関との連携体制を強化します。

さらに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築の理念に基づきながら、取組の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
特別支援学校の教育の充実		特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率の向上			
		センター的機能の強化・充実			
		ICTを活用した教育活動の研究	効果検証	ICTを活用した教育活動の推進	
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
免許法認定講習	小、中 中等 高、特	特別支援学校教諭免許状取得に必要な単位を修得できる講習を実施し、特別支援学校に勤務する教員及び特別支援学級を担任する教員等の資質の向上を図る。			2,361
岡山県就労・生活支援研究協議会	特	教育・労働・事業所等の連携により、就労による社会自立や障害の重い生徒に対する支援方策の在り方について検討する。また、高等部1・2年生が複数の企業担当者と直接話をする機会として、「ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～」を開催する。			371
特別支援学校技能検定	特	児童生徒が目標を持って取り組むことができる技能検定を企業団体と連携して企画・開発し、県下の特別支援学校で実施することで、キャリア教育の充実を図る。 【拡充内容】小学部技能検定について企画・開発を行う			946
特別支援学校における新しい教育課題研究事業	特	学習指導要領やインクルーシブ教育システムの構築など特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、県立特別支援学校全校を指定し、授業づくりと学習評価の実践研究を行うとともに、その成果を普及する。			1,157
特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業	特	近年、特別な支援を必要とする児童生徒が抱える問題も多様化・複雑化していることから、スクールカウンセラーを特別支援学校に配置し、生徒・保護者へのカウンセリングや教職員への助言を行い、教育体制の充実を図るとともに、必要に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣する。			3,130
医療的ケア充実事業	特	特別支援学校において、吸引や経管栄養等の日常的医療的ケアに係る看護師及び教員等の専門性を高めることにより、医療的ケアの実施体制の充実を図る。			3,349
高等支援学校等就労支援充実事業	中等 高、特	就労支援コーディネーターを県教委に配置し、高等支援学校及び特別支援学校の生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、特別支援学校と連携し、公立高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。			2,843

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
プロに学べ！作業学習ブラッシュアップ事業	特	販売力のある製品をつくるために必要な、商品開発から販売戦略の策定、広報、効果検証までの一連のプロセスにおいて、企業から高いレベルで指導・助言を受け、企業との連携を重視した作業学習のモデルを研究する。	1,283
特別支援学校・特別支援学級キャリア教育フェア	小・中・特	岡山市内の大型商業施設において、特別支援学校の生徒が製品の販売・実習実演等を行うことを通して、コミュニケーション力の向上を図り、就労に対する意欲・技能・態度等を養うとともに、特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒による作品の展示を行い、創作活動を通して情操豊かな児童生徒を育成する。	2,778
特別支援学校経営予算	特	校長の裁量権の拡大や経営能力の向上を図るとともに、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校教育の質の向上を図る。	5,514
特別支援学校教員専門研修	特	外部専門家を活用した専門的な研修を実施し、特別支援学校教員の専門性の向上とともに、特別支援学校のセンター的機能の充実を図る。	829
特別支援学校におけるICT授業充実事業	特	児童生徒に個別最適化した学びを保障するため、1人1台端末をフル活用した授業の実践等について、ICTプロジェクトチームを核とした研究を全特別支援学校で推進する。	1,234



R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
県立高等学校等への特別支援教育支援員の配置	中、中等高	県立高等学校等に在籍する障害のある生徒に対し、障害の程度に応じ、特別支援教育支援員を配置し、学校生活上の介助等の支援を行う。	12,924
就学前からの特別支援教育拠点化推進事業 新規	幼、保こ	就学前における特別支援教育を市町村内で中心的に推進する拠点となる幼稚園等の養成に関する実践研究を行う。	346
特別支援教育エキスパート派遣事業	幼、保こ 小、中 中 高、特	特別支援学校教員のうち専門性の高い者を特別支援教育エキスパートとして指定するとともに、スーパーバイザーとして特別支援教育の専門家を専門家チーム員として委嘱し、全ての学校種を対象に派遣することにより、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援体制の整備を図る。	1,415
小中学校における特別支援教育推進リーダー養成事業	小、中	特別支援教育に豊かな知見を有する教員を拠点校に配置し、地域内で中心となって特別支援教育を推進する人材の養成に関する実践研究を行う。	248

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
高等学校におけるインクルーシブ教育推進事業	中等、高	高等支援学校及び高等学校を拠点校として指定し、特別支援学校及び拠点校による巡回相談を通じて県立高等学校等の特別支援教育推進のための体制の強化、特別支援教育コーディネーター等を中心に教職員全体の専門性の向上を図る。	1,312
長期療養児支援充実事業	小、中 中等、高	専門家で構成する「岡山県長期療養児支援推進チーム」から、チーム員を高等学校や医療機関に派遣し、長期療養中の高校生への遠隔授業について研究するとともに、小・中・高等学校等から要請を受けてチーム員を派遣し、支援を実施する。	464
高等支援学校等就労支援充実事業(再掲)	中等 高、特	就労支援コーディネーターを県教委に配置し、高等支援学校及び特別支援学校の生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、特別支援学校と連携し、公立高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。	2,843
通級による指導におけるICT活用研究事業 新規	小、中	通級による指導において、ICTを活用することにより、遠隔授業や打合せ、人材育成など通級による指導を充実させるための研究を市町村に委託し、市町村教育委員会が指定した小・中学校において研究を行い、その研究成果を普及する。	2,157
特別支援学校教諭免許状取得促進事業	小、中 中等	教育職員免許法に基づく免許法認定講習を増設し、特別支援学級担任等の特別支援学校教諭免許状の取得を促進するとともに、専門性の向上を図る。	470

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6	
インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の充実		「個別の教育支援計画」等の作成と引継ぎの徹底		「個別の教育支援計画」等の活用		
		居住地校交流の研究	効果検証	居住地校交流の拡充		
		通級指導教室等多様な学びの場の充実				
R 4の取組	校種等	内容		予算額(千円)		
居住地校交流充実事業 拡充	小・特	交流及び共同学習において、県立特別支援学校全校で「交流籍」の制度を導入し、障害のある子どもと障害のない子どもとの間での交流活動を促進する。 【拡充内容】県立特別支援学校全校で実施		692		
特別支援教育教育課程等協議会	幼、保 小、中 中等 高、特	特別支援学校学習指導要領やインクルーシブ教育システム構築に向けたポイント、特別支援教育の推進に関する課題等について協議することにより、教職員の指導力の向上と教育課程の改善を図る。		106		
広域特別支援連携協議会	幼、保 小、中 中等 高、特	医療、保健、福祉、労働、司法、教育等の関係部局、大学、医師会及び保護者の会が相互の連携を図り、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対し総合的な教育的支援を行うことを目的とした協議会を開催する。		106		
インクルーシブ教育推進フォーラム	幼、保 小、中 中等 高、特	インクルーシブ教育構築の推進に係る取組の成果を総括し、関係者や学識経験者等を招聘してのフォーラムを開催することで、全県的な普及を図る。		597		
特別支援学校における新しい教育課題研究事業(再掲)	特	学習指導要領やインクルーシブ教育システムの構築など特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、県立特別支援学校全校を指定し、授業づくりと学習評価の実践研究を行うとともに、その成果を普及する。		1,157		

各発達段階ごとの特別支援教育の充実

幼稚園・保育所・認定こども園

★発達障害等のある子どもの早期発見・早期対応と小学校段階への円滑な接続

【新規】

- ◎就学前からの特別支援教育拠点化事業
 - 就学前における特別支援教育を推進する拠点となる幼稚園の養成に関する実践研究

小学校・中学校

- ★通常学級における特別支援教育の指導力の向上と高い実践力を持った教員の養成
- ★授業のユニバーサルデザイン化と児童生徒の多様性を踏まえた学級づくり
- ★多様な学びの場づくり

小・中学校における学びの場



【新規】

- ◎通級による指導におけるICT活用研究事業
 - 通級による指導におけるICT活用に関する実践研究

【継続】

- ◎特別支援学校教諭免許状取得促進事業
 - 教育職員免許法に基づく免許法認定講習を増設
- ◎長期療養児支援充実事業
 - 小・中学校へ復学支援推進チーム員を派遣
- ◎小・中学校における特別支援教育推進リーダー養成事業
 - 特別支援教育を中心的に推進する人材の育成に関する実践研究

高等学校

- ★障害特性に応じた指導
- ★通級指導の導入に向けた実践的な取組
- ★進路指導の充実による確実な就労支援

【継続】

- ◎長期療養児支援充実事業
 - 長期療養児支援推進チーム員を派遣し、遠隔授業授業を実践研究
- ◎高等学校におけるインクルーシブ教育推進事業
 - インクル推進拠点校を中心に、特別支援教育推進のための体制の強化、教職員全体の専門性の向上
- <その他の取組>
 - ◎就労支援コーディネーターによる就労先等の開拓
 - [高等支援学校等就労支援充実事業]
 - ◎特別支援教育エキスパート等による社会人としてのソーシャルスキルトレーニング等の実施のための助言
 - [特別支援教育エキスパート派遣事業]

特別支援学校

- ★発達障害を含む様々な障害や新たな課題に対応するための指導力の向上
- ★就労支援体制とキャリア教育の充実
- ★特別支援教育のセンター的機能の充実

【拡充】

- ◎特別支援学校技能検定
 - 小学部から高等部までの発達段階に応じた技能検定の実施
- ◎居住地交流充実事業
 - 「交流箱」の制度を導入し、障害のある子どもと障害のない子どもとの間での交流活動を促進

【継続】

- ◎ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～
 - 特別支援学校高等部生徒が企業担当者と直接話し合いの提供
- ◎特別支援学校における新しい教育課題研究事業
 - 授業づくりと学習評価に関する実践研究
- ◎スクールカウンセラー等の配置
- ◎医療的ケア充実事業
 - 指導医派遣等により医療的ケアの実施体制を充実
 - 最新の知識・技能を修得できる看護師研修体制の強化
- ◎高等支援学校等就労支援充実事業
 - 就労支援コーディネーターによる就労先等の開拓と公立高等学校への支援
- ◎特別支援学校・特別支援学級キャリア教育フェア
- ◎フロンに学ぶ！作業学習ブラッシュアップ事業
 - 企画・広報・販売段階における企業との連携を重視した作業学習を研究
- ◎特別支援学校教員専門研修
 - 外部専門家を活用した特別支援学校教員への専門研修を実施
- ◎特別支援学校におけるICT授業充実事業
 - ICTを活用した授業の充実

指導・助言（センター的機能）

就学前段階

義務教育段階

高等学校段階

特別支援教育エキスパート（特別支援学校教員）専門家チーム員の派遣
 インクルーシブ教育推進フォーラム等による理解啓発と取組の普及
 個別の教育支援計画等の作成・活用による合理的配慮の提供及び情報の引継ぎ

特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参加

(8) 大学等との連携

専門的な知見・資源を有する大学等高等教育機関をはじめ、地域、企業、公益法人、NPO など民間団体等と連携を図り、学校や地域における子どもたちの学習活動の充実に努めます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
大学等との連携		高大連携の促進			
		教員養成におけるインターンシップ・ボランティアの促進			
		社会教育施設等での科学体験等の機会の提供			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
「教師への道」インターンシップ事業(再掲)	大学生	教職を目指す大学生が学校現場での教育活動の体験を通じて学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける機会を提供する。			- (運営費で対応)
岡山県・岡山市教員等育成協議会(再掲)	-	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。			224
岡山県生涯学習大学事業	子ども一般	主催講座では、県立文化・社会教育施設9施設と連携し、子どもたちが各施設で主体的に学ぶ「きっず☆ユニバ」、30歳までの若者がボランティアの意義や心得を学ぶ「ボランティア・スタート講座」の2講座を開設する。連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。			3,408

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
企業等との連携		おかやま子ども応援人材バンクの登録・活用促進			
		企業への登録の働きかけ			
		人材バンク活用数			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
おかやま子ども応援人材バンク	幼、こ小、中中等、高特、一般	身近な地域では得られにくい企業や団体等を学校の応援団として募り、学校等へ紹介する。			- (運営費で対応)
企業発!みらプロ	企業	地域貢献活動を行いたい企業を対象に、生涯学習センターが専門家をコーディネートして相談・助言等を行い、学校や公民館等で活用できる企業の資源を生かした学習プログラムを作成する。			175

(9) 子どもたちの安全の確保

事故の要因となる学校環境や子どもたちの学校生活等における行動の危険を早期に発見し、それらを速やかに除去するとともに、万が一、事故が発生した場合に、適切な応急手当や安全措置ができる体制を確立するなど、子どもたちの安全の確保に向けた取組を推進します。また、日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質能力の育成につながる安全教育の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
生活安全の推進		生活安全教材の活用促進			
		活用状況の把握 情報提供			
		地域ボランティアや関係機関との連携			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
県立学校の長寿命化改修(再掲)	高、特	老朽化した学校施設の環境改善(環境整備)を目的とした長寿命化改修工事を実施し、学校施設の経年劣化の改善や機能向上等を推進する。			1,482,226
学校安全教室推進事業	幼、こ小、中 中 高、特	実践的な安全教育・安全管理を推進することができるよう、防犯教室や地域安全マップの指導者等に対して学校安全教室推進研修会を開催し、学校安全を推進する。			359
学校安全総合支援事業	幼、こ小、中 中 高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、連携して積極的に取り組む地域や学校を支援する。			3,500

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
交通安全の推進		交通安全教材の活用促進			
		活用状況の把握 情報提供			
		地域ボランティアや関係機関との連携			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
学校安全教室推進事業(再掲)	幼、こ小、中 中 高、特	実践的な安全教育・安全管理を推進することができるよう、防犯教室や地域安全マップの指導者等に対して学校安全教室推進研修会を開催し、学校安全を推進する。			359
学校安全総合支援事業(再掲)	幼、こ小、中 中 高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、連携して積極的に取り組む地域や学校を支援する。			3,500

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
災害安全の推進		災害安全教材の活用促進 活用状況の把握 情報提供			
		防災教育に係るモデル研究の推進 モデル校での実践			
		好景気の普及			
		平成30年7月豪雨災害等の経験を踏まえた学校防災力の強化 県立学校での学校防災マニュアルの継続的な見直しの支援			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
学校安全総合支援事業(再掲)	幼、こ小、中 中高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、連携して積極的に取り組む地域や学校を支援する。			3,500
高校生「地域防災ボランティアリーダー」養成研修	中、中等 高	災害発生時に高校生が救援活動等ができる実践力を身に付け、社会貢献できる人材を育成することを目的に、日本赤十字社等と連携し、搬送訓練や炊き出し訓練などをメニューとした研修を実施する。			137

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
非常時に備えた危機管理体制の充実		災害支援員の養成 講座へ職員派遣	災害支援員養成講座の実施 災害支援員数		
			被災した学校への災害支援員の派遣		
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
学校安全総合支援事業(再掲)	幼、こ小、中 中高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、連携して積極的に取り組む地域や学校を支援する。			3,500
教職員による災害時相互応援体制構築事業	幼、こ小、中 中高、特	平成30年7月豪雨災害において、多大な支援を受けた兵庫県教育委員会震災・学校支援チーム「EARTH」の知見と手法を本県でも普及するため、災害支援員の養成を通じて、教職員による災害時の相互応援体制を構築する。			745

2 学びのチャレンジ精神の育成

(1) 夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進

子どもたちの学びを進めるにあたり、学びに積極的・主体的に取り組んでいけるよう、子どもたちの夢を育み、それに挑戦していく経験を通して、意欲や自信などの「自分を高める力」を育てる「夢育」を、学校教育や社会教育、家庭教育など様々な学びの機会を通じて推進します。

また、子どもたちが、社会の中で自分の役割を果たしつつ自分らしい生き方を実現できるよう、望ましい勤労観や職業観の育成に向け、学校・家庭・地域・企業等が連携したキャリア教育を推進します。

さらに、職場体験活動やインターンシップ及び専門高校における職業教育の充実に向け、企業等に対して教育活動への積極的な協力や参画を促します。

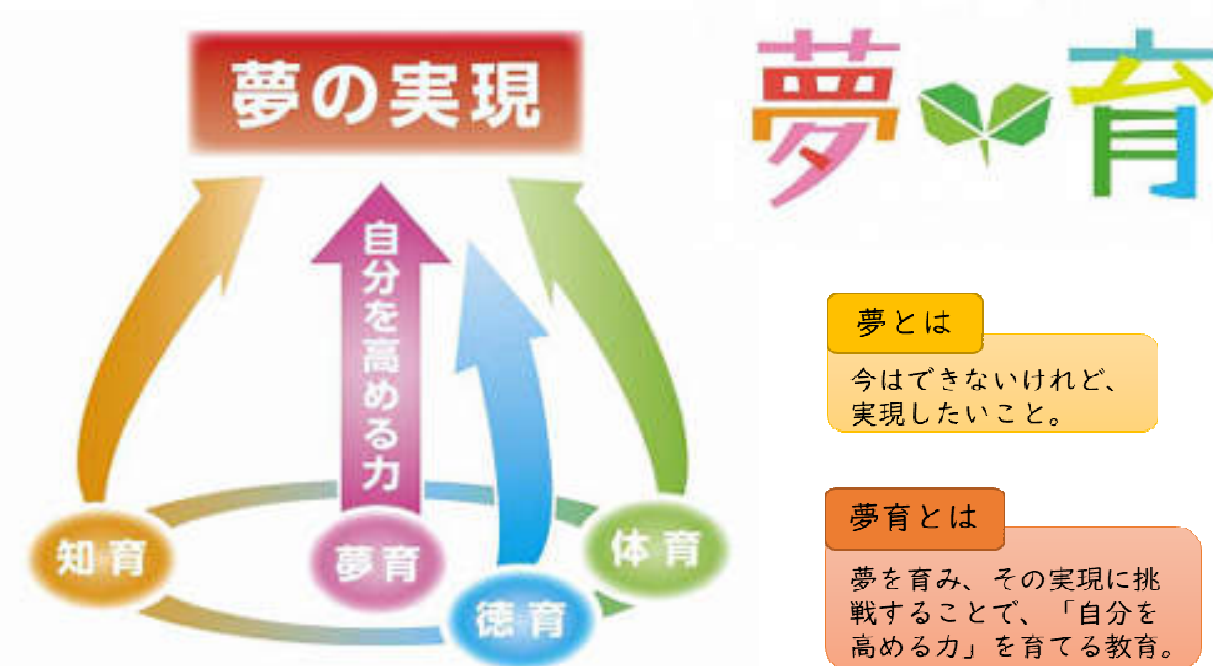
主な取組の項目		R3	R4	R5	R6	
夢を育む教育の推進			岡山型課題解決型学習（PBL）ガイドブックに基づく学習の推進 ガイドブックの作成 → ガイドブックの活用促進			
			各校の取組や成果を発表する場の提供			
		就学前の非認知能力育成研修プログラムの作成	研修プログラムの活用促進			
		就学前の非認知能力育成に係る指導者の養成・フォローアップ				
		生涯学習審議会での調査研究・答申		答申を踏まえた施策の展開		
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)	
ワールド・ワイド・ラーニング（WWL）コンソーシアム構築支援事業	中、中等 高	指定校において、国内外の大学、企業、国際機関等と協働し、高校生へ高度な学びを提供する仕組みを構築することにより、将来、新たな社会を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材の育成を目指す。また、留学経費の一部を支援する。			9,989	
スーパーサイエンスハイスクール事業	高	理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策について研究する。			5,666	
グローバル・リーダー育成拠点構築事業 新規	高	指定校において、これまでの国庫補助事業の成果を踏まえ、引き続き本県におけるグローバル人材育成の牽引役として関係機関との連携や海外との交流の充実を図る。また、留学経費の一部を支援する。			1,400	
プログラミングコンテストへの道	中等、高	高校生を対象にIT業界の専門家等の講演会を実施し、生徒の興味関心を喚起するとともに、専門的技術向上のための講座開設等を行う。			1,900	
サイエンスチャレンジ	中、中等 高	理数に興味関心が高い中・高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味関心の高揚及び学力の向上を図る。			2,000	
科学オリンピックへの道	中、中等 高	理数への興味・関心の高い中高生を対象としたコンテストを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指すとともに、物理チャレンジの参加費を補助することで、参加者数の増加を図る。			543	

R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)
オンライン国際交流コーディネーター配置事業 (再掲) 新規	中等、高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学生数の増加に繋げる。	1,300
高校生留学支援事業 (再掲)	中等、高	留学促進のための講演会や留学相談会を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一部を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進を図る。	17,782
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進 新規	中等、高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で対応)
高校生探究フォーラム (再掲)	中等、高	総合的な探究の時間や課題研究等で、外部との連携等を通して特色ある取組を実施している学校の教育活動を共有し今後の取組の参考とするとともに、企業や大学の関係者を招くことで高校生に実社会とのつながりを持たせることを目的とし、ステージ発表及びポスターセッションを実施する。	3,577
高校と地域で創る未来の学びプロジェクト (再掲) 新規	高	高校と自治体の更なる連携強化等により、小規模校等の更なる魅力化・特色化を進め、県内外からの志願者増を図る。 ○指定校 ・全国募集の要件を満たす県立高校のうち、既に地元自治体から一定の支援を得ている3校を指定校とする。 ・外部団体等の支援によるカリキュラム開発等。 ○準指定校 ・高等学校魅力化推進事業リージョナルモデルの第2期以降の高校及び令和4年度に新たに1学年3学級規模となる高校を準指定校とする。 ・コーディネーター及び地域連携組織の設置による地域連携の強化。	14,694
岡山型課題解決型学習(PBL)ガイドブック作成事業 (再掲) 新規	小、中 中等	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付し、身近な地域を学び場として、児童生徒の主体性を生かしながら、自ら課題設定や解決に向けての道筋を考えさせる学習を推進する。	1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業 (再掲) 新規	小、中 中等	小・中学生に向けた各方面で活躍する方からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。	5,951
おかやま夢発信・交流事業 (再掲) 新規	小、中 中等	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「『遠くとTALK』チャレンジ」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。	946

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
プロに学べ！作業学習ブラッシュアップ事業 (再掲)	特	販売力のある製品をつくるために必要な、商品開発から販売戦略の策定、広報、効果検証までの一連のプロセスにおいて、企業から高いレベルで指導・助言を受け、企業との連携を重視した作業学習のモデルを研究する。	1,283
特別支援学校・特別支援学級キャリア教育フェア (再掲)	小・中・特	岡山市内の大型商業施設において、特別支援学校の生徒が製品の販売・実習実演等を行うことを通して、コミュニケーション力の向上を図り、就労に対する意欲・技能・態度等を養うとともに、特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒による作品の展示を行い、創作活動を通して情操豊かな児童生徒を育成する。	2,778
特別支援学校技能検定(再掲) 拡充	特	児童生徒が目標を持って取り組むことができる技能検定を企業団体と連携して企画・開発し、県下の特別支援学校で実施することで、キャリア教育の充実を図る。 【拡充内容】小学部技能検定について企画・開発を行う	946
体育授業スペシャリストサポーター派遣事業	小	小学校教員が苦手意識を持ちやすい器械運動などの領域の体育授業において、教員とともに指導に入る外部人材を重点的に派遣する。	2,619
体力アップ・マイベストチャレンジ!	小、中 中等、特	新体カテストの8種目の中から、自分が記録を伸ばしたい2種目を選んで自己記録更新を目指すことにより、児童生徒の体力向上への意欲を高め、自己記録更新に向けて一人ひとりが具体的な取組を行うことにより、運動習慣の定着を図る。	490
みんなでチャレンジランキング	保、幼 こ 小、中 中等 高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。	353
いきいき岡山っ子☆運動習慣カード	小、特	年3回、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を配付し、児童自らが運動や体を動かす遊びの実施状況を把握することで、自発的かつ継続的に運動しようとする意欲を高める。	700
就学前の非認知能力育成支援事業 (再掲)	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。	1,164
おかやま子ども応援事業	幼、こ 小、中 中等 高、特	地域住民の参画による地域学校協働活動の取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。また、地域全体で子ども達を支える機運を醸成するため、これからの地域学校協働活動やまちづくりとそれを支えるひとづくりのあり方を学ぶことのできるフォーラムを開催する。	46,794

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
おかやまどんどん 読書推進事業	小、中 中等 高、特	小学生及び高校生の読書実態を把握するとともに、依然として不読率の高い中学生を対象に、令和2年度に作成した『おもしろ読書事典』を活用した電子書籍サービスを提供するなど、読書活動の推進を図る。	2,936
音楽公演	小、中 中等 高、特	県内の学校等において、室内楽公演を実施し、児童生徒に優れた芸術・文化に直接触れる機会を提供する。	2,655
小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやままなびとサーチ」充実事業	小、中 中等、特	県内社会教育施設等を活用した学習用動画を作成し、「おかやままなびとサーチ」の充実を図る。	2,374
岡山県生涯学習大学事業（再掲）	子ども 一般	主催講座では、県立文化・社会教育施設9施設と連携し、子どもたちが各施設で主体的に学ぶ「きっず☆ユニバ」、30歳までの若者がボランティアの意義や心得を学ぶ「ボランティア・スタート講座」の2講座を開設する。連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。	3,408
おかやま☆子ども参観日	幼、こ 小、中 中等 保護者	子どもが、最も身近な大人である保護者の職場において、働く姿を見たり仕事等を体験したりすることで、子どもたちの勤労観・職業観を育成する。	- (運営費で対応)

県教育委員会が考える「夢育」



主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
キャリア教育の推進		小中パワーアップ事業における実証研究	効果検証	好事例の県内への普及	
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
高等学校でのインターンシップ等の推進	中等、高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。			- (運営費で対応)
高校生のためのジョブフェア	中等、高特	岡山労働局等と連携して、採用意欲のある企業の参加を募り、合同の説明会を開催し、就職を希望する生徒に、働くことの意義などを考えさせ、望ましい職業意識を身に付けさせる。			1,003
高校生キャリアサポート事業	中等、高	拠点校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。			6,288
SDGsの取組を進める企業等との連携による探究的な学びの推進	中等、高	SDGsの取組を進める企業等を訪問し、自らの課題についての探究を深める中で、社会における企業等の役割を学ぶ機会の充実を図る。			- (運営費で対応)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進 新規	中等、高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。			- (運営費で対応)
岡山型課題解決型学習(PBL)ガイドブック作成事業(再掲) 新規	小、中 中等	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付し、身近な地域を学び場として、児童生徒の主体性を生かしながら、自ら課題設定や解決に向けての道筋を考えさせる学習を推進する。			1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業(再掲) 新規	小、中 中等	小・中学生に向けた各方面で活躍する方からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。			5,951
おかやま夢発信・交流事業(再掲) 新規	小、中 中等	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「『遠くとTALK』チャレンジ」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。			946
おかやま☆子ども参観日(再掲)	幼、こ 小、中 中等 保護者	子どもが、最も身近な大人である保護者の職場において、働く姿を見たり仕事等を体験したりすることで、子どもたちの勤労観・職業観を育成する。			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
職業教育の推進		インターンシップや企業訪問等の促進			
		高校生就職アドバイザーによる就職指導・求人先の開拓等			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
高校エキスパート活用事業	高、特	<p>高等学校において、工業、農業、語学、情報機器、理数等について専門的な知識や技能を有する民間企業や地域の人材、外国人講師等の人材を配置し、最先端の技術や知識を学習する機会を提供し、専門性の向上を図る。</p> <p>また、特別支援学校において、高等部の生徒を、言語聴覚士等の立場から支援できる人材を配置し、様々なニーズへの対応を図る。</p>			21,019
高等学校でのインターンシップ等の推進(再掲)	中等、高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。			- (運営費で対応)
高校生キャリアサポート事業(再掲)	中等、高	拠点校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。			6,288
「森林(もり)の担い手」育成事業	高	林業関連の学習を行う県立高等学校の生徒等を対象に、林業就業に向けた高度な技術実習等と、林業大学校や林業関係の先進地への視察を行い、将来における林業の担い手育成に資する。			1,808
高校生発!「木のぬくもり実感」事業	高、特	林業、建築、商品開発等(アイデア等の提案を含む)の学習を行う県立高等学校等の生徒が、県産森林認証材を活用した商品開発や、小中学生等を対象としたものづくり教室を行うことで、県民が県産森林認証材に触れる機会を創出するとともに、県産森林認証材のPRにつなげる。			781
産業教育等設備整備事業	高	県立高等学校の産業教育設備の整備充実を図る。			82,698
デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用	高	最新のデジタル化に対応した産業教育装置を授業等で有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材の育成を図る。			- (運営費で対応)
	新規				

(2) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり

小学校や中学校において、家庭学習指導の充実や、支援員の配置等による放課後等の補充学習支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うICTの利活用の加速化や、子どもたちが学びに挑戦できる場の創出により、学校規模や地理的要因にかかわらず、子どもたちが様々な体験や交流を通して、意欲的に学習に取り組める仕組みづくりを進めます。こうした取組により、基礎学力や学習習慣の定着、子どもたちの自ら学ぼうとする意欲やチャレンジ精神の喚起を図ります。

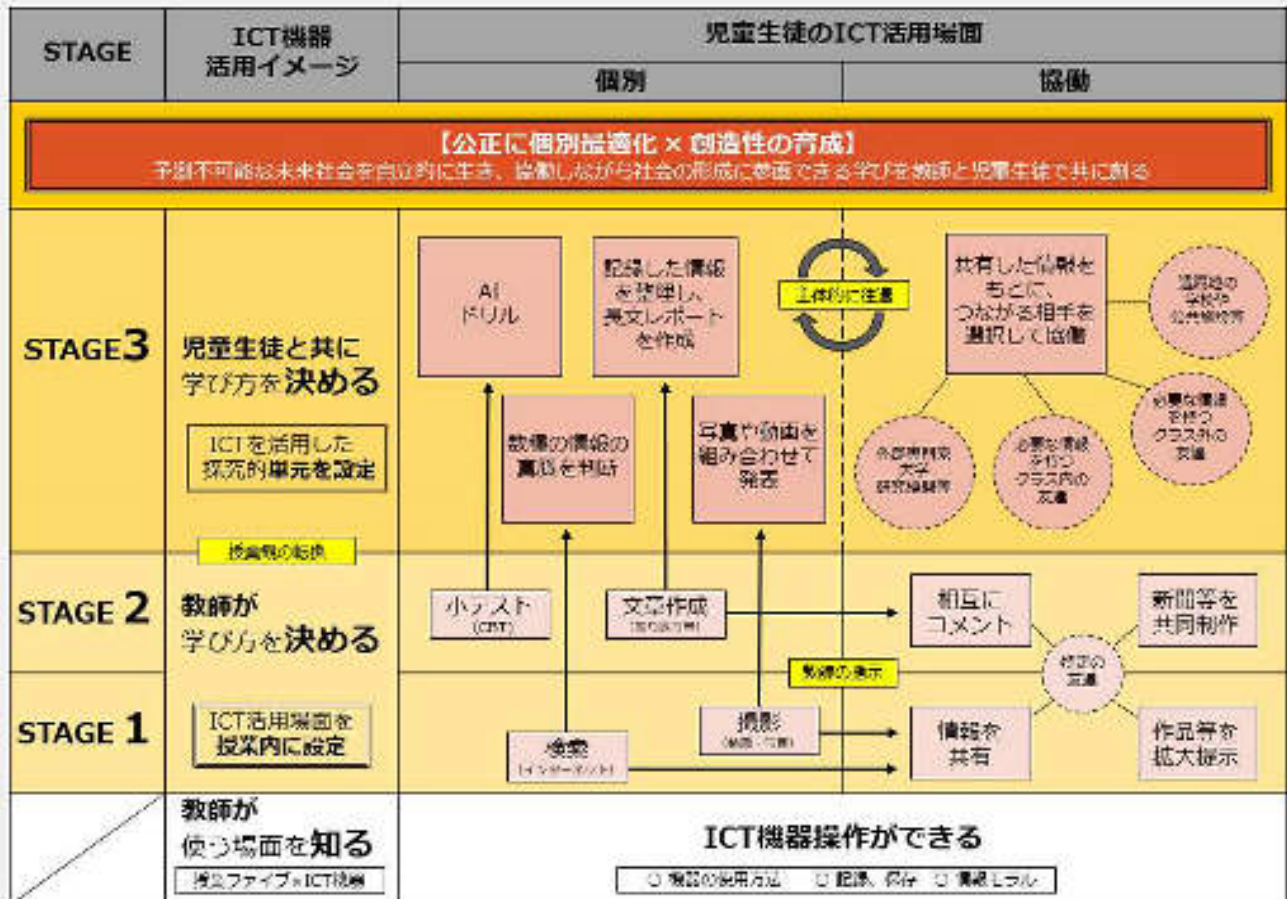
また、高等学校では、ICTの活用による習熟度に応じた授業や、授業時間外の学習機会の充実を図るとともに、教科横断的な視点に立った学校全体の取組の徹底により、知識・技能のみならず、思考力・判断力、学びに向かう姿勢を有する人材を育成します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
家庭学習指導の充実や補充学習への支援		「家庭学習のスタンダード（増補版を含む）」の教員への徹底・保護者への啓発			
		放課後等の補充学習支援			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
家庭学習指導の推進	小、中 中等	児童生徒の家庭学習習慣の定着のための基本的な考え方や指導方法等を示した「家庭学習のスタンダード」の活用を徹底し、家庭学習の質的・量的充実を図る。			- (運営費で対応)
主体的な学びの基盤づくり事業 新規	小、中	公立小学校約180校、中学校約60校に、地域人材等を支援員として配置し、放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習をサポートすることで、基礎学力や学習習慣の定着を図る。			48,313
おかやまどんどん読書推進事業(再掲)	小、中 中等 高、特	小学生及び高校生の読書実態を把握するとともに、依然として不読率の高い中学生を対象に、令和2年度に作成した『おもしろ読書事典』を活用した電子書籍サービスを提供するなど、読書活動の推進を図る。			2,936

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
高等学校における学力の向上		ICTを効果的に活用した授業の実践研究		効果的な活用の好事例の県内への発信	
		学力状況の的確な把握・分析に基づく授業改善の推進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
高校生の学力状況の分析	中等、高	各校の学力状況を分析し、指導改善方策の検討等を行うことで、高校生の学力向上を図る。			- (運営費で対応)
合同学習合宿の実施(再掲)	中等、高	学校の垣根を越えた学びの場を提供し、リーダー育成を図る。			1,888

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
ICTの利活用		教員のICT活用指導力の向上 児童生徒1人1台端末活用に重点化した研修の充実			
		ICTを効果的に活用した授業の実践研究(再掲)		効果的な活用の好事例の県内への発信(再掲)	
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
プログラミングコンテストへの道(再掲)	中等、高	高校生を対象にIT業界の専門家等の講演会を実施し、生徒の興味関心を喚起するとともに、専門的技術向上のための講座開設等を行う。			1,900
県立学校のICT基盤の整備	県立学校	1人1台端末やICTを効果的に活用した学習活動を展開するための学校ICT環境の整備や維持管理を行う。			343,968
特別支援学校におけるICT授業充実事業(再掲)	特	児童生徒に個別最適化した学びを保障するため、1人1台端末をフル活用した授業の実践等について、ICTプロジェクトチームを核とした研究を全特別支援学校で推進する。			1,234
通級による指導におけるICT活用研究事業(再掲)	小、中	通級による指導におけるICT活用について、市町村に研究委託し市町村教育委員会が指定した小・中学校において研究を行い、その研究成果を普及する。			2,157
		新規			

【岡山県版】ICT機器 授業活用 1・2・3



GIGAスクール構想のさらなる推進

GIGAスクール構想実現に向け、これまでに高速大容量の通信環境や校内無線LANなど、児童生徒1人1台端末や教育用クラウドの活用の基盤となる学校ICT環境を整備するとともに、教育用クラウドや1人1台端末を活用した授業づくりに関する教員研修を行ってきた。

学校ICT環境の活用が本格化するなか、**研修や管理職・リーダー人材への支援による教職員のICT活用指導力のさらなるレベルアップやICT支援員等配置による学校への支援強化、ICTの効果的な活用に関する情報発信に引き続き取り組む必要がある。**

おこやま学校教育情報化推進計画(仮称)の策定

国の学校教育情報化推進計画を基本とし、各都道府県に学校教育情報化推進に関する施策についての計画を定める努力義務
(学校教育の情報化の推進に関する法律(令和元年法律第47号))

本県における学校教育ICT化のビジョンや取組の方向性等に関する計画がなく、国の動向も踏まえ、早期策定する必要がある

本県の学校教育ICT化のビジョンや取組の方向性を示す
「おこやま学校教育情報化推進計画(仮称)」
を策定

GIGAスクール構想のさらなる推進に向けた推進体制の強化

ICT活用指導力レベルアップ推進事業 新規

市町村担当者連携会議等を通して市町村教委へ取組を周知・普及

区分	現状と課題	課題に対する対応
管理職	▲校内の教育情報化や研修の舵取り役となる管理職に対する専門的な相談支援が必要	○GIGAスクール構想推進ディレクターや県指導主事による 管理職を対象としたコンサルテーションを実施
ICT活用推進リーダー	▲担当者の負担が重く、ICT活用推進に集中的に取り組むことが困難であり、支援が必要 ▲担当者の計画的な育成・配置することや専門性が十分でない担当者への支援が必要	○各校に 専任のICT活用推進リーダーを1名以上指名 し、校内のICT活用推進業務に集中的に取り組む環境を構築 ○研修及び資格(ITパスポート・教育情報化コーディネータ検定3級)取得により 担当者のレベルアップ及び次期推進リーダー人材を育成
教職員	▲ICTを活用した授業・研修への負担感や抵抗感を感じており、意識改革が必要 ▲ICTに関する個々の教職員のスキルや意識に差があり、全体的な底上げが必要	○教職員がICT活用に関する項目を年度当初に自己評価・目標設定した上で、 個々の力量に応じた研修や優良事例を基にした実践的な研修が受けられるよう、研修メニューを充実 ○出前研修・講演会の実施や校内研修で活用できる研修パッケージの作成により、 各学校の校内研修を強力にバックアップ

各校全体のICT活用レベルをチェック・フォローアップ

全県立学校のICT活用指導力をさらにレベルアップ!

個々の教職員のICT活用レベルをチェック・フォローアップ

学校情報化認定(日本教育工学協会)のチェックリスト(20項目・4段階)を活用し、**各県立学校のICT活用レベルを把握**

学びの姿変容状況アンケート(年3回実施)により、生徒1人1台端末の利活用状況や**個々の教職員のICT活用指導力を把握**

県立学校ICT支援員等配置事業 変更・継続

現状と課題

- ▲1人1台端末の導入にあたり、新たなクラウド・無線LAN環境や新規端末(1校あたり最大 1,300台、平均700台程度)の初期設定や障害トラブル対応等を集中的に支援する必要
- ▲教職員が生徒1人1台端末等の学校ICT環境を効果的に活用した教育実践に集中的に取り組むための支援体制の強化やICT活用指導力・スキルの向上が急務

○ICT支援員巡回支援(地財措置分)(対象:中・高・特別支援学校)
・74校地を月1回(半日)程度巡回 → **校内セキュリティ担当者の業務をサポート**
・各校の要望に応じた臨時巡回

ICTを活用した教育実践に集中して取り組む環境を構築

○専門者によるコールセンター
(対象:中・高・特別支援学校)事業期間:13・14
端末・ICT機器やネットワークに関する障害・トラブル相談等の一元窓口を通年設置

○1人1台端末導入支援
(対象:中・高・特別支援学校)事業期間:13・14
クラウド活用サポートの設置及び年度当初の臨時訪問により1人1台端末の導入初期を重点的に支援

①クラウド活用サポート
クラウド活用に際するトラブルを迅速での確認・検証等により支援

②臨時訪問の先表
年度当初を中心に学校の要請により臨時訪問支援

全ての教職員が生徒1人1台端末を効果的に活用した授業をスムーズに行うことができる!

(3) 国際的に活躍できる人材の育成

グローバル人材の育成の基盤となる語学力、コミュニケーション能力、優れた国際感覚、異文化を理解する精神等を身につけた人材の育成を目指し、子どもたちが英語に触れる機会の増加、高校生の海外留学やICTを活用したオンラインによる国際交流の促進及び英語教育の充実による英語活用の向上を図るとともに、地域を学ぶ機会や伝統文化・芸能に親しむ機会を充実することで、我が国や郷土の伝統・文化を深く理解し、その継承・発展に努め、世界に発信する姿勢を育みます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
児童生徒の英語力の向上		外部検定を活用した授業改善の取組事例の普及			
		生徒の発信力強化のための英語担当教員の指導力向上			
		ICTを活用した効果的な指導法の研究		ICTを活用した効果的な指導法の普及	
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業	小、中 中等、高	「英語教育改善プラン」に基づき、外部機関（大学等）と連携して、小・中・高等学校の英語教員等を対象とした研修体制の構築を図る。			2,991
外国語教育指導強化対策事業	中、中等 高、特	外国語教育及び国際理解教育の一層の充実を図ることを目的として、外国語指導助手（ALT）を県立学校に計画的に派遣するとともに、韓国慶尚南道との交流を通じ、中学生を対象とした国際交流を推進する。			92,661
ワールド・ワイド・ラーニング（WWL）コンソーシアム構築支援事業（再掲）	中、中等 高	指定校において、国内外の大学、企業、国際機関等と協働し、高校生へ高度な学びを提供する仕組みを構築することにより、将来、新たな社会を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材の育成を目指す。また、留学経費の一部を支援する。			9,989
グローバル・リーダー育成拠点構築事業（再掲）	高	指定校において、これまでの国庫補助事業の成果を踏まえ、引き続き本県におけるグローバル人材育成の牽引役として関係機関との連携や海外との交流の充実を図る。また、留学経費の一部を支援する。			1,400
		新規			
オンライン国際交流コーディネーター配置事業（再掲）	中等、高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学生数の増加に繋げる。			1,300
		新規			
高校生留学支援事業（再掲）	中等、高	留学促進のための講演会や留学相談会を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一部を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進を図る。			17,782
英語教員指導力向上事業（再掲）	中	指導力のある退職教員等を中学校に継続的に派遣し、英語の授業の充実に向けた指導・助言を行い、若手教員の指導力向上を推進する。			1,982

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
海外留学や国際交流の促進		コーディネーターの配置等による留学や姉妹校交流、ICTを活用した国際交流の促進（再掲）			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業（再掲）	中、中等 高	指定校において、国内外の大学、企業、国際機関等と協働し、高校生へ高度な学びを提供する仕組みを構築することにより、将来、新たな社会を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材の育成を目指す。また、留学経費の一部を支援する。			9,989
グローバル・リーダー育成拠点構築事業（再掲） 新規	高	指定校において、これまでの国庫補助事業の成果を踏まえ、引き続き本県におけるグローバル人材育成の牽引役として関係機関との連携や海外との交流の充実を図る。また、留学経費の一部を支援する。			1,400
オンライン国際交流コーディネーター配置事業（再掲） 新規	中等、高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学者数の増加に繋げる。			1,300
高校生留学支援事業（再掲）	中等、高	留学促進のための講演会や留学相談会を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一部を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進を図る。			17,782

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
我が国や郷土の伝統・文化を理解する教育の推進		郷土の偉人に関する授業づくりの研究	郷土資料を活用した授業の推進		
		地域学の推進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
道徳教育総合支援事業	幼、こ 小、中 中等、高	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージを作成し、活用を図る。			215

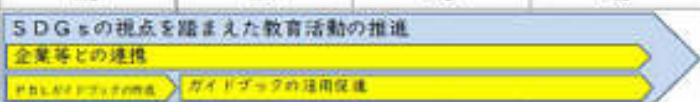
(4) Society5.0に向けた人材の育成

AIやデータを理解し、使いこなす力を身に付けるとともに、AIにはない人間の強みを生かして、他者と協働しながら新しい価値を創造する人材の育成に向け、STEAM教育やデータサイエンス、プログラミング教育、課題解決的な学習の充実を図るなど、子どもたちの優れた能力、才能、個性を伸ばす教育を推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
科学技術教育の推進		SSH（スーパーサイエンスハイスクール）校を核とした理数教育の推進と成果の普及			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
スーパーサイエンスハイスクール事業（再掲）	高	理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策について研究する。			5,666
サイエンスチャレンジ（再掲）	中、中等高	理数に興味関心が高い中・高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味関心の高揚及び学力の向上を図る。			2,000
科学オリンピックへの道（再掲）	中、中等高	理数への興味・関心の高い中高生を対象としたコンテストを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指すとともに、物理チャレンジの参加費を補助することで、参加者数の増加を図る。			543
理科教育等設備整備事業	県立学校	各学校の理科教育等設備を国庫補助により整備し、県立学校の理科教育の振興を図る。			19,000

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
Society5.0時代に対応した教育の推進		児童生徒1人1台端末の活用による協働学習の推進や個別最適化された学びの実現 モデル校における実践研究 → 効果的な活用の好事例の県内への発信 データサイエンスやプログラミング教育の充実			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
プログラミングコンテストへの道（再掲）	中等、高	高校生を対象にIT業界の専門家等の講演会を実施し、生徒の興味関心を喚起するとともに、専門的技術向上のための講座開設等を行う。			1,900
デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用（再掲）	高	最新のデジタル化に対応した産業教育装置を授業等で有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材の育成を図る。			- (運営費で対応)
ICT活用指導力レベルアップ推進事業（再掲）	県立学校	管理職・ICT活用推進リーダー・教職員それぞれの職務・課題に応じた研修・支援を充実させることで、全県立学校のICT活用指導力のレベルアップを図る。			3,267

R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)
ICT支援員配置事業(再掲)	県立学校	授業でのICT活用や、機器等の管理運用などの業務への対応のため、県立学校全校への巡回支援、コールセンター(ヘルプデスク)及びクラウド活用サポートデスクの設置を行う。	77,188
県立学校のICT基盤の整備(再掲)	県立学校	1人1台端末やICTを効果的に活用した学習活動を展開するための学校ICT環境の整備や維持管理を行う。	343,968

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
問題発見・解決的な学習活動の充実					
R 4 の取組	校種等	内容			予算額(千円)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進(再掲)	中等、高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。			- (運営費で対応)
SDGsの取組を進める企業等との連携による探究的な学びの推進(再掲)	中等、高	SDGsの取組を進める企業等を訪問し、自らの課題についての探究を深める中で、社会における企業等の役割を学ぶ機会の充実を図る。			- (運営費で対応)
おokayama高校生地域未来創造事業(再掲)	中等、高	高校生が中山間地域等において地域の課題解決に取り組むことにより、地域への愛着心醸成と地域貢献の意欲向上を図り、中山間地域で活躍する次代の人材を育成する。			5,000 (県民生活部 予算)
ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業(再掲)	中、中等高	指定校において、国内外の大学、企業、国際機関等と協働し、高校生へ高度な学びを提供する仕組みを構築することにより、将来、新たな社会を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材の育成を目指す。また、留学経費の一部を支援する。			9,989
高校生探究フォーラム(再掲)	中等、高	総合的な探究の時間や課題研究等で、外部との連携等を通して特色ある取組を実施している学校の教育活動を共有し今後の取組の参考とするとともに、企業や大学の関係者を招くことで高校生に実社会とのつながりを持たせることを目的とし、ステージ発表及びポスターセッションを実施する。			3,577

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
高校と地域で創る 未来の学びプロ ジェクト（再掲） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	高	高校と自治体の更なる連携強化等により、小規模校等の更なる魅力化・特色化を進め、県内外からの志願者増を図る。 ○指定校 ・全国募集の要件を満たす県立高校のうち、既に地元自治体から一定の支援を得ている3校を指定校とする。 ・外部団体等の支援によるカリキュラム開発等。 ○準指定校 ・高等学校魅力化推進事業リージョナルモデルの第2期以降の高校及び令和4年度に新たに1学年3学級規模となる高校を準指定校とする。 ・コーディネーター及び地域連携組織の設置による地域連携の強化。	14,694
岡山型課題解決型 学習（PBL）ガイ ドブック作成事 業（再掲） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	小、中 中等	岡山型課題解決型学習（PBL）の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付し、身近な地域を学び場として、児童生徒の主体性を生かしながら、自ら課題設定や解決に向けての道筋を考えさせる学習を推進する。	1,901
「君に届け！」夢 への架け橋事業 （再掲） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	小、中 中等	小・中学生に向けた各方面で活躍する方からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。	5,951
おかやま夢発信・ 交流事業（再掲） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	小、中 中等	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習（PBL）を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「『遠くとTALK』チャレンジ」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。	946

3 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着

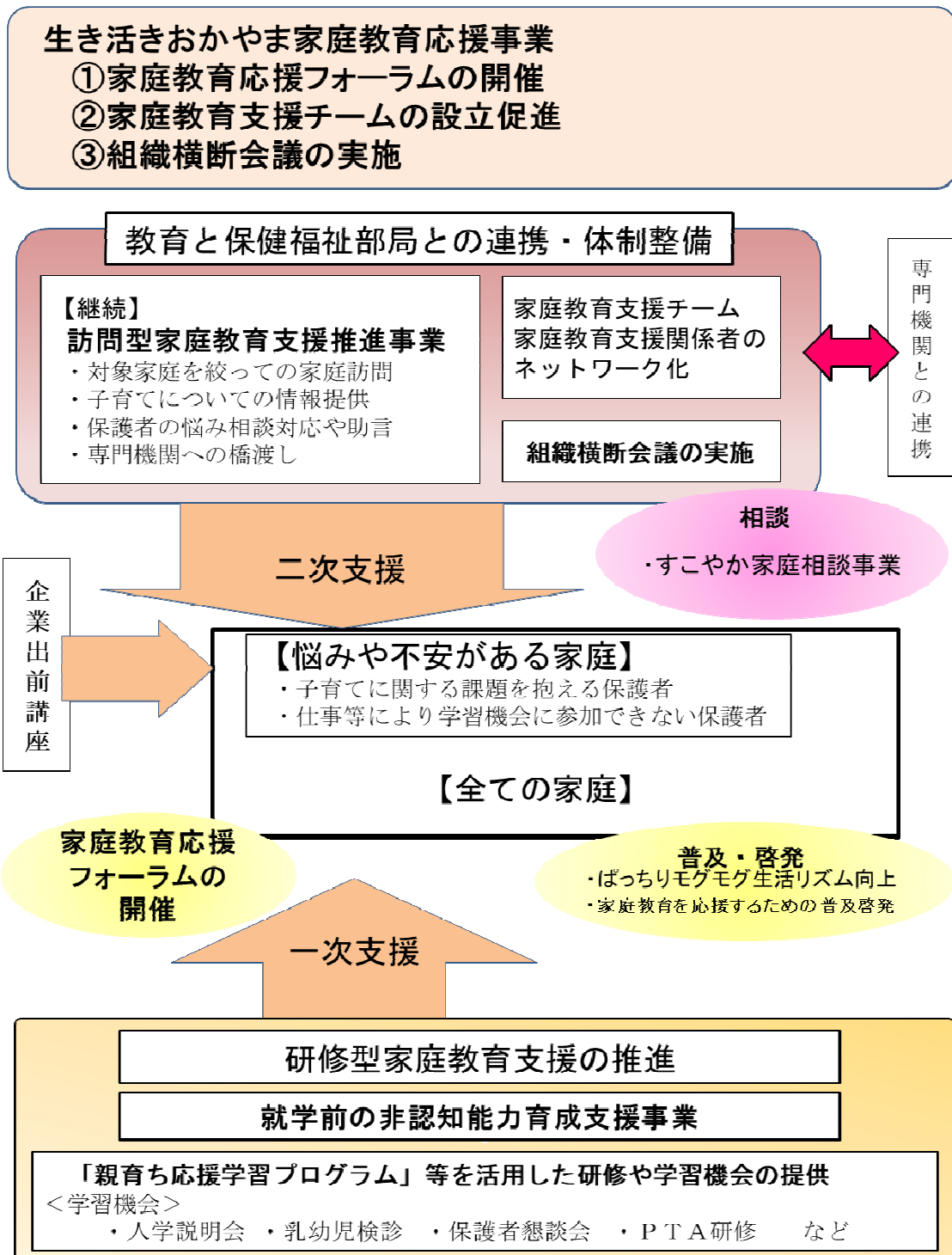
関係各機関の緊密な連携により、保護者等に対して家庭教育に関する多様な学習プログラムや学習機会の提供を行うとともに、家庭訪問等による相談体制の充実に努め、企業等とも連携し、地域ぐるみですべての教育の出発点である家庭の教育力を高めることで、子どもたちがよりよい社会生活を営む基盤となる夢や目標を持ち、善悪の判断など基本的倫理観はもとより、規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう推進します。

また、社会教育関係団体活動との連携により、学校教育や家庭教育の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6	
保護者への家庭教育に関する多様な学習プログラムや学習機会の提供		家庭教育企業出前講座の実施促進 様々な媒体を活用した広報 出前講座実施数				
		家庭の教育力向上に向けた支援者の人材育成、保護者への普及・啓発 家庭教育の重要性の周知・各地域での家庭教育の推進気運の醸成				
		就学前の非認知能力育成研修プログラムの作成(再掲)		研修プログラムの活用促進(再掲)		
		就学前の非認知能力育成に係る指導者の養成+フォローアップ(再掲)				
		R4の取組	校種等	内容		
就学前の非認知能力育成支援事業(再掲)	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。			1,164	
生き生きおかやま家庭教育応援事業	一般	社会全体で家庭教育を応援する気運を高めるため、家庭教育応援フォーラムの開催や、市町村の家庭教育支援チームの設立促進などを実施する。			2,918	
子育てサポータースキルアップ講座	一般	家庭教育に関する専門的知識やカウンセリングに関する知識・技術の習得を目指した講座を実施することで、子育てサポーターのスキル向上を図る。			84	
「おかやま教育の日」関連事業	幼、こ小、中 中高、特	11月1日の「おかやま教育の日」から始まる「おかやま教育週間」(11/1~7)を中心に、県下全域で教育に関する様々な取組を展開することにより、教育に関する県民の意識高揚を図る。			- (運営費で対応)	
家庭向け教育情報誌「こころのわ」の発行	保護者	家庭向け教育情報誌「こころのわ」を発行し、本県の教育に関する情報提供を行い、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。			1,751	

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
家庭教育に関する相談体制の充実		家庭教育支援チーム等の設置促進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
訪問型家庭教育支援推進事業	保護者	家庭教育支援チームを結成し、課題を抱える家庭を訪問することにより、家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援を行うとともに、必要に応じて関係機関に繋ぐことで家庭の課題解決を図る。			- (おかやま子ども応援事業の中で実施)
すこやか家庭相談事業	一般	SNS (LINE) を活用した相談しやすい体制を整備し、青少年や子育てに関する不安や悩みを持つ親等を支援する。			3,200

岡山県の家庭教育支援



(2) 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

地域住民の参画による学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や地域学校協働活動の効果的な推進により、地域ぐるみで子どもを健やかに育み、学校・家庭・地域の教育力の向上を図ります。

また、地域と学校でビジョンを共有し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
地域と学校の協働の推進		地域学校協働活動推進員の委嘱の推進			
		市町村における委嘱			
		地域連携担当教職員・地域学校協働活動推進員の資質向上・フォローアップ			
		コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の効果的な取組の推進			
		対象者の収集・情報提供			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
コミュニティ・スクールの導入（再掲）	県立学校	保護者や地域住民、学識経験者等の構成委員が一定の権限を持ち、学校運営や必要な支援に関して協議を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育の提供を目指す。			1,967
PTA指導者研修会	保護者	PTAの指導者を対象に、子どもたちを取り巻くスマホ・ネット問題の他、主権者教育、消費者教育、健康教育、食育、リテラシー教育等の学習機会を提供することで、学校・家庭・地域が相互に連携して教育に取り組む体制づくりを目指す。			929
生きる力応援プラン「夢さがしの旅」推進事業	小、中 中等 保護者	不登校等で悩む子どもや保護者を対象に、社会教育施設等を活用した体験活動や交流活動などを通じて、子どもの自立を支援するとともに学校復帰への足がかりとする。			156
おかやま子ども応援事業（再掲）	幼、こ 小、中 中等 高、特	地域住民の参画による地域学校協働活動の取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。また、地域全体で子ども達を支える機運を醸成するため、これからの地域学校協働活動やまちづくりとそれを支えるひとづくりのあり方を学ぶことのできるフォーラムを開催する。			46,794
社会教育関係団体による地域パワーアップ事業	子ども 一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が持つ専門性やネットワークを生かした子どもの健全育成を図るプログラムの開発を行う。			2,000

地域ぐるみで子どもを育てる体制整備

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域が総ぐるみとなって子どもの学習や体験を充実する取組を有機的に組み合わせて、学校と家庭を支援する事業を実施することにより、地域で子どもたちを育てる体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

おかやま子ども応援事業

家庭教育支援

- ◆「親育ち応援学習プログラム」等を活用した参加型の学習機会の提供【就学前の保護者研修に重点】
- ◆地域住民による家庭教育にかかわる情報提供、相談活動等の実施
- ◆企業出前講座の実施

訪問型家庭教育支援推進事業

- ◆主に就学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭訪問等によるアウトリーチ型の支援を実施

地域学校協働活動

(地域学校協働本部)

「学校における働き方改革」を踏まえた活動 (学校支援を含む)

- ◆授業・放課後等の学習支援
学校行事支援
学校環境整備
登下校の見守り 等
- ◆学びによるまちづくり
地域行事への参画 等

放課後等の地域における学習支援・体験活動

放課後子ども教室等

- ◆放課後の学習指導
自然体験活動支援
居場所の確保 等
- ◆中高生等を対象とした放課後等の学習支援
- ◆地域の豊かな社会資源や外部人材を活用し、体系的・継続的なプログラムの実施

連携・協働

新・放課後子ども総合プラン（一体型、連携型の推進・学校施設の徹底的活用等）

放課後児童クラブ【厚労省】

子どもの育ち

熟議

めざす子ども像
目標やビジョンの共有

学校運営協議会

学校運営協議会の役割

- ①学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- ③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができる

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進



4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成

(1) 道徳教育を中心とした規範意識の確立

子どもたちの規範意識や自尊感情、人間関係構築力を高め、豊かな情操を育むため、「特別の教科 道徳」を要として、学校の教育活動全体を通じて様々な体験活動等を交えながら、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進します。さらに、道徳科において、指導方法や指導体制等に関する実践的な研究を通して道徳の授業改善を進め、その成果の普及に努めます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
道徳教育の充実		郷土の偉人に関する授業づくりの研究（再掲）	郷土資料を活用した授業の推進（再掲）		
		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究 好事例の普及			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
道徳教育総合支援事業（再掲）	幼、小、中、高	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージを作成し、活用を図る。			215

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
体験活動の推進		公立学校における体験活動の推進 好事例の普及			

(2) いじめや暴力行為等への対策の推進

いじめや暴力行為等の問題行動への対策として、関係機関と連携した取組を進めるとともに、生徒指導対応等のための教員や支援員などの効果的な配置・活用等により、落ち着いた学習環境を確保し、新たな問題行動を生まない魅力ある学校づくりを推進します。また、問題行動を初期段階で確実に捉え、解決に向けた取組を徹底できるよう、学校における生徒指導体制の確立等により、組織的対応を充実させます。さらに、子どもの家庭環境等を踏まえ、就学前からの早期対応を行います。

その他、問題行動や非行に対しては関係機関が連携して適切に対処し、学校が警察と協働で実施する非行防止教室やインターネットモラル教室などを通じて、規範意識の向上に努めるとともに、少年非行情勢の改善を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校の組織的取組の充実		学校の組織的対応や教職員の生徒指導力の向上 アプリの利用などによる相談体制の充実			
		児童生徒の主体的な活動の推進 いじめについて考える週間の取組			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
いじめ防止対策等総合推進事業	小、中、高、特	ネットパトロールの実施や児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。			5,087

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
生徒指導上の課題解決に向けた効果的な対応策普及促進事業	小、中等、高 保護者	スマホ・ネット問題について、スマホサミット開催等の児童生徒や保護者の主体的な取組の促進や成果発表等により、スマホ等の適正利用を推進する。	2,115
心と命のサポート事業	小、中等、高、特	児童生徒が自他を大切にすることを身に付けることができるよう、いじめや自殺の問題に直面した当事者や関係者等によるいじめの重大さや命の尊重等に関する出前授業を実施し、いじめ、不登校などの問題行動や自殺等の未然防止を図る。	1,713
悩みや不安を抱えた時の匿名相談アプリ活用事業	中、中等高、特	アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システムを全県立学校で活用し、当事者やいじめを見かけた生徒が安心して相談できる体制を構築する。	12,835
自殺予防教育推進事業	小、中等高、特	教職員を対象とした自殺予防教育に係る講座の開催により、教職員の自殺予防に関する理解の促進及び実践力の向上を推進し、児童生徒自身の自殺等の危機を乗り越える力の養成を図り、いじめ・不登校等の未然防止や自殺等の予防につなげる。	390
学級崩壊等早期対応事業（再掲）	小、中等	問題行動が見え始めた学校に、警察OBと教員OBのペアによる集中指導員等を一定期間継続的に派遣し、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	46,588

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
関係機関との連携		警察、児童相談所、少年保護関係機関等との連携			
		専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の活用（再掲）			
R 4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
いじめ防止対策等総合推進事業（再掲）	小、中等高、特	ネットパトロールの実施や児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。			5,087
スクールカウンセラー（SC）配置事業（再掲）	小、中等、高	公立全小中学校にSCを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー（SV）による指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。 【拡充内容】年間派遣10回未満の学校を解消			148,734
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業（再掲）	小、中等、高	公立全小中高等学校を担当SSWが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。 【拡充内容】SSWは全員有資格者を任用			172,551
思春期サポート事業（再掲）	中等、高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。			14,234

(3) スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応

青少年を良好な生活環境の下で育むため、スマホ・ネット問題対策の推進や関係事業者への立入調査等を実施するとともに、地域住民や関係機関・団体が一体となった、県民総ぐるみの運動を展開し、青少年の健全育成や非行防止を図ります。

特に、スマホ・ネット問題について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大も背景としながら、ネット上での誹謗中傷やいじめの発生などモラルの低下が指摘されており、情報モラル教育を充実するとともに、スマートフォン等の使用時間や使用方法など利用に関する適切なルールづくりやフィルタリング機能の活用についての児童生徒の主体的な取組の促進、家庭・地域等への啓発を行うなど、スマホ・ネット問題の解決に向けた取組を強化します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
青少年の健全育成等の推進		「岡山県青少年健全育成条例」に基づく立入調査			
		青少年総合相談センターにおける教育相談の実施			
		おかやま子ども・若者サポートネットによる若者への支援			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
教育相談体制の整備	小、中 中等 高、特	いじめや不登校の問題など、児童生徒や保護者等からの相談に適切に対応するため、青少年総合相談センターへの相談室の設置により、電話相談への24時間対応や面談で相談に応じる体制を整備する。			11,766

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
スマホ・ネット対策の推進		「岡山県青少年によるインターネットの適切な利用の推進に関する条例」に基づく立入調査			
		携帯電話事業者との連携			
		情報モラル教育の充実			
		児童生徒の主体的な活動の促進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
生徒指導上の課題解決に向けた効果的な対応策普及促進事業(再掲)	小、中 中等、高 保護者	スマホ・ネット問題について、スマホサミット開催等の児童生徒や保護者の主体的な取組の促進や成果発表等により、スマホ等の適正利用を推進する。			2,115

(4) 郷土愛の醸成

自然、歴史・伝統、民俗・文化、人物など地域の特性に根ざした学習を学校の教育活動全体を通じて行うとともに、文化・スポーツ等の体験活動を通して、子どもたちが生まれ育った地域への理解を深めることにより、郷土愛の醸成を図り、郷土岡山の活力を生み出す人材の育成につなげます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
地域への理解を深める教育の推進		郷土の偉人に関する授業づくりの研究(再掲)	郷土資料を活用した授業の推進(再掲)		
		文化財の公開・活用の充実と文化財保護・継承活動の担い手育成の促進 郷土の文化遺産を紹介するガイドブックやHPの活用促進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
道徳教育総合支援事業(再掲)	幼、こ小、中中等、高	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージを作成し、活用を図る。			215
岡山型課題解決型学習(PBL)ガイドブック作成事業(再掲) 新規	小、中中等	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付し、身近な地域を学び場として、児童生徒の主体性を生かしながら、自ら課題設定や解決に向けての道筋を考えさせる学習を推進する。			1,901
「君に届け!」夢への架け橋事業(再掲) 新規	小、中中等	小・中学生に向けた各方面で活躍する方からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。			5,951
おかやま夢発信・交流事業(再掲) 新規	小、中中等	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「『遠くとTALK』チャレンジ」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。			946
県立博物館の出前講座	小、中中等、高、特	学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高め、授業内容の理解を深める。			- (運営費で対応)

(5) より良い社会づくりに参画する人材の育成

地域社会と連携の下、学校におけるボランティア教育や主権者教育、消費者教育を推進するとともに、子どもたちの社会貢献活動への一層の理解と参加を促進し、人の役に立ち、人に感謝される体験を通して、家庭はもとより、社会の一員としてより良い社会づくりに積極的に参

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
ボランティア教育の推進		保幼小中と連携した社会貢献活動の実施			
		対象別内容			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
高等学校における社会貢献活動の推進	中等、高	全ての県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程において、教育活動に位置づけた社会貢献活動を計画・実施することで、道徳性・社会性の育成を図る。			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
主権者教育・消費者教育の推進		主権者教育の取組の推進			
		選挙管理委員会等との連携			
		実践的な消費者教育の推進			
		国が作成した教材の活用や出前授業の実施			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
主権者教育の推進	小、中 中等、高	主権者としての権利と義務を自覚し、民主政治等についての理解を深めるとともに、政治や経済等の話題について多面的、多角的に考察させる探究的な学習や選挙管理委員会と連携した出前授業などを実施し、学校における主権者教育を推進する。			- (運営費で対応)
消費者教育の推進	小、中 中等、高	成年年齢の18歳以上への引き下げに伴い、消費者の権利と責任を自覚し、自立した消費者として、適切な意思決定に基づいて社会の一員として行動する消費者の育成や、消費者庁が作成した教材を活用したり、実務経験者による出前授業などを実施するなど、実践的な消費者教育を推進する。			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
子どもたちが地域で活躍する場の創出		地域学の推進(再掲)			
		児童生徒の地域の魅力等を発信する場の提供			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進(再掲) 新規	中等、高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。			- (運営費で対応)
高校と地域で創る未来の学びプロジェクト(再掲) 新規	高	高校と自治体の更なる連携強化等により、小規模校等の更なる魅力化・特色化を進め、県内外からの志願者増を図る。 ○指定校 ・全国募集の要件を満たす県立高校のうち、既に地元自治体から一定の支援を得ている3校を指定校とする。 ・外部団体等の支援によるカリキュラム開発等。 ○準指定校 ・高等学校魅力化推進事業リージョナルモデルの第2期以降の高校及び令和4年度に新たに1学年3学級規模となる高校を準指定校とする。 ・コーディネーター及び地域連携組織の設置による地域連携の強化。			14,694

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
岡山型課題解決型学習（PBL）ガイドブック作成事業（再掲） 新規	小、中 中等	岡山型課題解決型学習（PBL）の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付し、身近な地域を学び場として、児童生徒の主体性を生かしながら、自ら課題設定や解決に向けての道筋を考えさせる学習を推進する。	1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業（再掲） 新規	小、中 中等	小・中学生に向けた各方面で活躍する方からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに引き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。	5,951
おかやま夢発信・交流事業（再掲） 新規	小、中 中等	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習（PBL）を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「『遠くとTALK』チャレンジ」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。	946
社会教育団体による地域パワーアップ事業（再掲）	子ども 一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が持つ専門性やネットワークを生かした子どもの健全育成を図るプログラムの開発を行う。	2,000

（6）子どもたちの体力の向上

子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するため、学校での体育の充実を図り、子どもたちの体力向上への意欲を高めるとともに、一人ひとりの実態に応じた体力づくりに取り組み、子どもたちの体力・運動能力の向上を図ります。

また、新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、適切な運動部活動が展開されるよう取り組むとともに、スポーツ・武道を通じて、規範意識や豊かなコミュニケーション能力、人間関係を築く力を醸成します。

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
学校体育の充実	小学校体育の授業改善に向けたモデル校での実践		効果検証	成果の普及
	体育授業エキスパート派遣事業（県指導主事の派遣）の活用促進			
	体力アッププログラムの活用・普及			
		追加プログラムの作成	追加プログラムを含めた活用・普及	
R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)	
体育授業スペシャルサポーター派遣事業（再掲）	小	小学校教員が苦手意識を持ちやすい器械運動などの領域の体育授業において、教員とともに指導に入る外部人材を重点的に派遣する。	2,619	
体育授業力アップモデル校事業	小	体育の授業力向上に取り組む小学校を体育授業力アップモデル校として指定し、体育主任を中心にカリキュラムマネジメントやアスリート・外部指導者の活用による授業改善等に取り組む。	1,500	
体育授業エキスパート派遣事業（県指導主事の派遣）	小、中 中等	希望する小中学校に県指導主事を派遣し、学校における授業改善をサポートする。	- (運営費で対応)	

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
体力・運動習慣づくりの推進		「体力アップ・マイベストチャレンジ！」の実施 中学校を対象に追加			
		「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の活用促進			
		「みんなでチャレンジランキング」への参加促進 追加プログラムの反映			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
みんなでチャレンジランキング(再掲)	保、幼小、中、中等、高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。			353
体力アップ・マイベストチャレンジ!(再掲)	小、中、中等、特	新体力テストの8種目の中から、自分が記録を伸ばしたい2種目を選んで自己記録更新を目指すことにより、児童生徒の体力向上への意欲を高め、自己記録更新に向けて一人ひとりが具体的な取組を行うことにより、運動習慣の定着を図る。			490
いきいき岡山っ子☆運動習慣カード(再掲)	小、特	学期毎にビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を配付し、児童自らが運動や体を動かす遊びの実施状況を把握することで、自発的かつ継続的に運動しようとする意欲を高める。			700

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
スポーツを通じた規範意識の向上等		武道等、規律正しい体育の授業の実施			
		「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づく適切な運動部活動の実施 モデル校での実践・効果検証 → 成果の普及			
		オリンピック・パラリンピック教育の推進 数校有識者での実践 → 効果検証 → 成果の普及			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
中学校運動部活動支援事業	中、中等	選手強化や全国中学校体育大会等派遣費補助など、中学校の運動部活動の支援を行う。			5,015
高等学校運動部活動支援事業	中等、高	選手強化や全国高等学校総合体育大会等派遣費補助など、高等学校の運動部活動の支援を行う。 県内高等学校の運動部活動のうち特に環境整備面でのサポートを必要とする学校を支援			11,927
「運動部活動方針」実践推進事業 新規	中、中等、高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動への転換をさらに推進させるため、モデル校を指定し、実践した成果を普及する。また、体罰・ハラスメント根絶等に関する研修会を開催する。			3,130
地域部活動推進事業 拡充	中、中等、高	令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むため、拠点校(地域)において実践研究を行い、研究成果を普及する。 【拡充内容】 ・市町村に向けた地域移行説明会の開催 ・地域移行支援コーディネーターの活用			7,700

子どもたちの体力向上

1 本県の子どもの体力に係る主な現状・課題とその解決に向けた方策

<現状・課題>

- 小学生の体力が低下傾向
<新体力テスト合計点の推移>※()は全国平均
小5男: H27:54.8 → R3:52.8(52.5)
小5女: H27:55.6 → R3:54.5(54.6)
- 運動する子としない子の二極化
<1週間の総運動時間数60分未満の割合>
【R3】小5男: 8.6%、小5女: 14.7%
中2男: 7.4%、中2女: 17.7%
- 食育に取り組んできたが、依然約1/5の児童生徒は朝ご飯は大切と考えていない。
<朝ご飯は大切と回答した割合>
【R3】小: 86.2% 中: 87.0%
- オリパラによるスポーツへの関心の高まり
(活躍選手による食の大切さの情報発信も増)

<考えられる要因>

- > ベテラン教員の大量退職、若手教員の増加等に伴う運動に苦手意識のある教員へのフォローが不足
- > 学校内外での運動時間の減少に伴う達成感・成功体験などを実感する機会の減少
- > 多様化する子どもたちの運動ニーズへの対応不足
・体づくりを目的とした活動への志向
・レクリエーション志向への対応など
- > 適切な食事の効用に係る認識不足
・実生活の中で、食事の効用をもっと体感できる機会が必要

<解決に向けた方策>

- (1) 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上
- (2) 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供
- (3) 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進
(「スポーツ栄養の観点を取り入れた食育の取組」を追加)

2 体力向上に向けた取組の体系

○第3次生き活きプラン

- ・重点戦略「教育県おかやまの復活」の戦略プログラム→「德育・体育推進」
- ・生き活き指標: 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合

○「夢育」の視点

- ・スポーツを通じて、非認知能力(意欲・自制心・協調性など)が養われる。

各方策の主な具体的施策

(1) 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上

① 体育授業スペシャルサポーター派遣事業

○小学校教員が苦手意識を持ちやすい器械運動等の体育授業において、教員とともに指導に入る外部人材を派遣

② 体育授業力アップモデル校事業

○小学校での授業力向上やICT活用等の研究

③ 体育授業エキスパート派遣事業

○希望する小中学校に指導主事を派遣し、授業改善をサポート

(2) 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供

④ 体力アップ・マイベストチャレンジ!

○新体力テスト結果から子ども自らが目標を設定して結果向上にチャレンジ(上位層だけでなく、個人の伸びも評価)

⑤ いきいき岡山っ子☆運動習慣カード

○ビンゴの要素を取り入れた運動習慣カードの活用

⑥ みんなでチャレンジランキング

○様々な運動遊びを行い、他の学校と結果を競う

(3) 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進

⑦ 「運動部活動方針」実践推進事業【組替(既存事業の精査・統合)】

○モデル校での実践研究
・合理的でかつ効率的・効果的な活動実践 ・ライトスポーツの実践 ・部活動を通じた食育の実践
○スポーツ医・科学等に基づいた指導や体罰・ハラスメント根絶に関する研修

⑧ 部活動指導員配置事業【拡充】

○部活動指導員の配置により、教員の負担軽減と部活動の活性化を図る。(対象:市町村立学校 県立学校)

⑨ 高等学校運動部活動支援事業(環境整備補助)

○高校運動部活動の環境整備を支援

⑩ 地域部活動推進事業

○R5以降の休日の部活動の段階的な地域移行の研究

楽し...

★「運動への肯定感」の向上 ★「達成感」「成功体験」の実感 ★健康な体づくり



もっと、やりたい!

運動やスポーツが好きな子どもたちの増加

★体力の向上 ★心身の健康の保持増進 ★豊かなスポーツライフの実現



(7) 子どもたちの健康の保持増進

子どもたちが健康な生活を送るために必要な力を身に付けることができるよう、がん教育、薬物乱用防止教育など健康教育を進めるとともに、学校・家庭・地域の連携による食育を推進し、学校の教育活動全体を通じて、子どもたちが望ましい生活習慣を身につけ、生涯にわたりたくましく生きるための健康づくりを進めます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
健康教育の推進		学校保健委員会活動の充実			
		感染症に関する指導の充実			
		新型コロナウイルス感染症に関する教材の活用促進			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
スクールヘルスリーダー派遣事業	小、中等、高特	退職養護教諭（スクールヘルスリーダー）を養護教諭等の未配置校や1人配置校（採用後4年以下）に派遣し、養護教諭等の育成及び支援を行い、学校保健活動の更なる充実を図る。			1,261
がんの教育等推進事業	小、中等、高特	がんの教育とともに、性や薬物乱用に関する問題などの様々な児童生徒の現代的健康課題等への適切な対応を図るため、関係機関等との協議会を開催するとともに、研修会を開催して教職員の知識・理解を深める。			154
食物アレルギー対応推進事業	小、中等、特	学校における食物アレルギーの対応状況を把握し、個別事案への指導・改善を行うとともに、事故やヒヤリハット事例の情報を集約して改善策を検討・周知を図るなど、学校給食における食物アレルギーへの適切な対応促進を図る。			99
養護教諭・栄養教諭研修指導員配置事業	小、中等、高特	新規採用の養護教諭・栄養教諭に対して研修指導員を配置し、校内において養護教諭・栄養教諭の育成及び支援を行う。			3,569

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
食育の推進		学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育の推進			
		食育スタンダードに基づく指導案の実践		食育スタンダードに基づく指導案の実践	
		家庭や地域等との連携・協働による食育の充実			
		部活動を通じた食育の推進		モデル校での実践	
		効果検証・成果の普及			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
食育スタンダードの活用	小、中等、特	これまでのモデル研究の成果として得られた食育スタンダードに基づく指導案を実践することにより、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育を推進する。			- (運営費で対応)
養護教諭・栄養教諭研修指導員配置事業（再掲）	小、中等、高特	新規採用の養護教諭・栄養教諭に対して研修指導員を配置し、校内において養護教諭・栄養教諭の育成及び支援を行う。			3,569
「運動部活動方針」実践推進事業（再掲） 新規	中、中等、高	令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むため、拠点校（地域）において実践研究を行い、研究成果を普及する。 【拡充内容】 ・市町村に向けた地域移行説明会の開催 ・地域移行支援コーディネーターの活用			3,130

(8) 人権教育の推進

すべての人の人権が尊重される「共生社会おかやま」の実現を目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、指導者の養成や学習に役立つ資料の作成など、人権教育を推進するための環境づくりに取り組みます。また、児童虐待やLGBTに対する偏見・差別などの課題のほか、新型コロナウイルス感染症に関わる人権侵害が社会問題になったことなども踏まえ、人権に関する知的理解と人権感覚の育成を図り、自他の人権を守ろうとする意識や態度を向上させ、実践行動につなげる取組を進め、人権教育の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校教育における人権教育の推進		教職員研修の実施			
		人権学習充実拠点校等での授業実践			
		事例集の配付・実践の普及			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
岡山県人権教育推進委員会	-	学識経験者等により人権教育の在り方について審議し、本県人権教育の充実を図る。			285
人権教育推進マトリックス会議	-	教育庁内の関係課室が連携して人権教育を推進するために、情報交換や施策等の調整を行う。			636
教職員研修	保、幼小、小中、中等高、特	管理職及び人権教育担当者等を対象とした研修会を実施し、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、教職員の人権意識の高揚を図る。			- (運営費で対応)
県立学校人権教育サポート事業	中、中等高、特	自他の生命及び個人の尊厳等を尊重する教育を充実させ、児童生徒の人権尊重への理解や人権感覚の育成を図るとともに、心理検査を活用し一人一人が尊重され、意欲的に学習や活動に取り組むことができる学校づくりを推進する。また、県立学校における教職員の資質能力と指導力の向上を図る。			1,871
人権教育活動調査	小、中中等、高特、教委	人権教育を総合的に推進するための基礎資料とするため、市町村及び学校における人権教育推進の状況を把握する。(人権教育推進状況報告書)			- (運営費で対応)
指導資料整備事業	保、幼小、小中、中等高、特教委	人権教育を進める際に参考となる指導資料の活用等を促進するとともに、様々な人権問題に関する啓発視聴覚教材を整備し、学校・地域における人権教育の推進に資する。			1,489
研究調査事業	小、中中等高、特	人権教育に関する実践的研究や教材、資料及び学習プログラムの開発等を行う。			1,940

R 4の取組	校種等	内容	予算額(千円)
人権学習充実拠点校事業	幼、こ小、中中等、高特	公立幼こ小中高校等各1校(園)を選考し、スーパーバイザー(SV)を招聘して、各校の人権課題を明確にした指導案作成支援や授業公開等を行う。(人権学習充実拠点校の指定等)	1,207
県立学校等児童虐待対応研修	中、中高等、特	児童相談所、NPO等との協働により、教職員の児童虐待対応力向上のための専門的な研修を実施し、学校における児童虐待への対応力の向上を図る。	130
「わたしの人権メッセージ」動画チャレンジ	小、中中等高、特	児童生徒が人権学習の中で学んだことを踏まえ、問題の解決に向けてのメッセージを動画にし発信することで、自他の人権を擁護する実践力・行動力の育成を図る。	210

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
家庭・地域における人権教育の推進		PTA研修の実施			
		市町村の指導者の養成と各種情報提供			
		養成指導者数			
R 4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
PTA指導者人権教育研修会	保護者	PTAの指導者を対象に、人権問題についての理解と認識を深めるため、人権に関する講演や実践発表、ワークショップ等の研修会を実施し、PTA指導者としての資質の向上を図る。			2,141
市町村情報提供・連絡事業	教委	市町村教育委員会人権教育担当者等を対象とした連絡会を実施し、人権教育講師バンクに講師情報を登録し、Webページ上で公開するなど、市町村への適切な情報提供を図る。			67
人権教育指導者養成講座	教委市町村等	様々な人権問題の解決に向けて、深い認識と実践力をもった指導者を養成する講座を実施するとともに、その修了者を対象にしたスキルアップ講座を開講することで、人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身に付けるための教育・啓発活動を推進する。			435

(1) 生涯学習活動の推進

県民一人ひとりが、生涯にわたって夢や目標を持ち、自らの興味や関心に基づき、様々な学習活動に取り組むことができるよう、多様な学習機会や情報の提供などの充実を図ります。さらに、学びを生かした地域活動への参画を通して、より良い地域社会を形成し、郷土岡山の発展を支えられるよう、学習成果の活用に向けた取組の充実を図ります。

また、県生涯学習センターを中心に、公民館やNPOなど、多様な主体との連携・協働を進めるとともに、県立図書館と市町村立図書館のネットワークの充実等を図ることにより、生涯学習活動を支援する環境づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学習成果の活用とより良い地域社会の形成		持続可能な地域づくりを担う人材の育成			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
県立図書館とことん活用講座	一般	県立図書館の特色である主題別6部門の専門性を生かし、関係機関等と連携して様々なテーマで特色ある講座を開催することで、県民の課題解決を支援するとともに、図書館活用の拡大を図る。			245
ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座	一般 市町村等	事業の重要な要素となるコーディネートやファシリテーションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図る。また、生涯学習・社会教育関係者のネットワークづくりを図る。			360
社会教育実践専門講座	一般 市町村等	地域課題の解決に向け、テーマを絞った専門的かつ実践的な研修を行い、生涯学習・社会教育による地域社会づくりの推進に必要な資質の向上を図る。			269
若者発!まちプロ	大学生等	県内の地域づくりの第一線で活躍している方のところへインターンに行き、実践型研修を通して、自らの思いを社会の中で実現させるための自主性・行動力を身につけることで、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図る。			604
生涯学習・社会教育関係職員研修講座	市町村等	県内市町村の生涯学習・社会教育関係職員等を対象に、地域課題の把握や解決方法を得るために必要な知識・技能習得に向けた研修会を開催し、豊かな地域社会づくりの中核的役割を担う職員等の育成を図る。			117
現代的課題の解決に向けた研修プログラム開発講座	市町村等	地域で顕在化する現代的課題の解決を目指す研修プログラムを開発する人材の育成を図る。			250

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6	
生涯学習活動を支援する環境づくり		多様な主体と連携した生涯学習大学の充実				
		新たな連携先の積極的な開拓				
		「ばるネット岡山」で提供する学習情報等の充実				
		第4次岡山県子ども読書活動推進計画に基づく取組				
					次期計画の策定	次期計画に基づく取組
		市町村立図書館の支援や図書館ネットワークの推進				
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)	
岡山県生涯学習大学事業(再掲)	子ども一般	主催講座では、県立文化・社会教育施設9施設と連携し、子どもたちが各施設で主体的に学ぶ「きっず☆ユニバ」、30歳までの若者がボランティアの意義や心得を学ぶ「ボランティア・スタート講座」の2講座を開設する。連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。			3,408	
JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携事業	子ども教職員一般	JAXAと連携して、「宇宙」を素材とした教職員対象の研修、子ども・親子対象の学習プログラム、指定校における特別授業等を展開し、子どもたちの科学や自然に対する興味・関心を高め、豊かな科学的素養を育む。			1,542	
「ばるネット岡山」による情報提供	一般	県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実を図り、県民の生涯学習を支援する。			- (運営費で対応)	
人と科学の未来館サイピアの運営	一般	学校教育との連携により、創造性豊かな人材を育成するとともに、幅広い世代の体験・交流を生み出す場を提供することで、県民の科学に対する興味・関心、知的探究心等を高め、豊かな科学的素養を育む。			47,133	
「県立図書館フェスタ」事業	一般子ども	県民が読書に親しむきっかけづくりとして、講演会や公開講座、企画展示等を行い、読書活動の推進を図る。			529	
図書資料の整備	一般子ども	県民の資料要求に応えるとともに、市町村立図書館のサービス活動を支援するため、児童図書を全点購入するなど新刊図書を整備する。			74,246	
図書館職員等研修講座	図書館職員等	図書館関係職員に必要な専門的な知識・技術について研修を行い、力量を高め、全県的な図書館サービスの向上を図る。			298	
岡山県公立図書館ネットワーク構築事業	一般子ども	市町村立図書館等と連携・協力しながら、資料の検索や搬送(週2回)を充実させるとともに、高等学校図書館等への搬送事業(週1回)を実施するなど、全県域を対象とした図書館サービスの向上を図る。			10,194	
社会教育に関する調査研究	一般	社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い、その成果や実践例・学習プログラム等を市町村や関係団体等に普及するとともに、次年度以降の研修や施策にも反映させる。			263	
学び直し推進事業	一般	義務教育程度の内容を学び直しできる場を県生涯学習センターで提供する。			1,361	
青年の家運営	小、中 中 高、特 一般	心身ともに健全な青少年の育成を図るため、県渋川青年の家及び県青少年教育センター閑谷学校において指定管理者制度による、民間のノウハウを活用したプログラムを提供することにより、自然体験活動の充実を図る。			200,379	
小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやままなびとサーチ」充実事業(再掲)	小、中 中 特	県内社会教育施設等を活用した学習用動画を作成し、「おかやままなびとサーチ」の充実を図る。			2,374	

(2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用

県立美術館や天神山文化プラザ等の文化施設の利用促進や充実を図るとともに、文化団体等の活動を支援し、県民の文化創造活動の振興を図ります。

市町村、関係団体、地域住民等と連携し、地域固有の文化資源を生かした活動や新たな創造活動の活性化を図り、文化を核とした、楽しみ、感動できる環境づくりを推進するとともに、将来の地域文化の担い手の育成や若手芸術家の支援を行います。

また、子どもたちをはじめ、より多くの県民が郷土の文化遺産に触れ、学び、親しむことができる機会の充実に努め、その着実な保存・継承と積極的な活用を図ります。

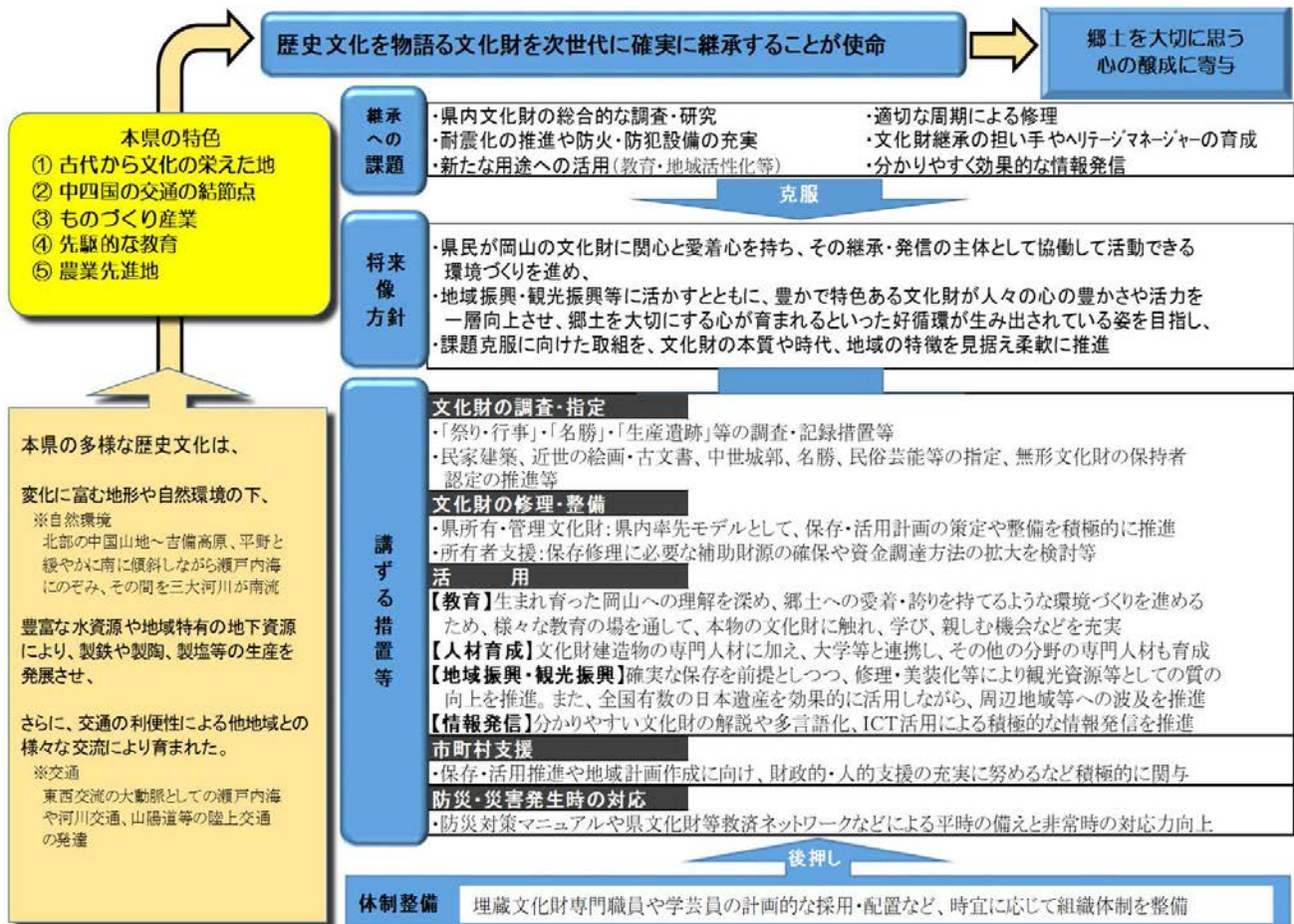
主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
文化に親しむ環境づくり		文化施設の利用促進や充実、美術や舞台芸術等の鑑賞機会の提供			
		学校における文化活動の充実			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
高等学校総合文化祭等	中、中等高、特	他県との発表・交流の場である全国高等学校総合文化祭への派遣等を行い、芸術文化活動の発展を図るとともに、情操豊かな子どもたちの育成を図る。			4,585
音楽公演(再掲)	小、中、中等高、特	県内の学校等において、室内楽公演を実施し、児童生徒に優れた芸術・文化に直接触れる機会を提供する。			2,655
文化芸術による子供育成総合事業	小、中、中等高、特	子どもたちが、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップや団体等との共演に参加し、優れた舞台芸術に身近に触れる機会を提供する。			— (国費)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
文化財の保存・活用		文化財の保存・継承と地域づくりの推進			
		こうもり塚古墳の調査・活用 国分尼寺の調査・活用 文化財の公開・活用と文化財保護・継承活動の担い手育成の促進(再掲) 郷土の文化遺産を紹介するガイドブックやHPの活用促進(再掲)			
R4の取組	校種等	内容			予算額(千円)
文化財保護保存事業	一般	国・県指定文化財の保存・活用に要する経費の一部を補助する。 林家住宅保存活用(美作市)、井上家住宅保存活用(倉敷市)他			63,696
「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業	一般	こうもり塚古墳等の保存活用計画に基づき、調査研究及び活用等を進める。			9,387
無形文化財支援事業	一般	無形文化財の「わざ」の伝承を推進するとともに、技術保持者相互の交流を図るため、各分野ごと及び分野を横断した研修会を実施する。			200

R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)
埋蔵文化財公開活用事業	一般 子ども	埋蔵文化財の普及・啓発を行う。 ・津島遺跡やよいまつり 火起こし、勾玉づくり 他 ・夏休み企画☆ワクワク古代体験 勾玉づくり、鏡づくり 他 ・吉備路ウォーク	2,000
県内庭園調査	一般	『岡山県文化財保存活用大綱』に基づき、県内庭園の悉皆調査を行い、指定による保護や活用につなげる。	770

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
県立博物館の機能充実等	展示・公開等の充実による歴史文化の発信 耐震改修工事に伴う休館 → リニューアル開館			
	教育普及活動、学校教育との連携等の充実 オンライン講座や出前授業による学校との連携等			
R 4 の取組	校種等	内容	予算額(千円)	
県立博物館の出前講座(再掲)	小、中 中等 高、特	学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高め、授業内容の理解を深める。	- (運営費で対応)	

岡山県文化財保存活用大綱が示す文化財の保存・活用の方向性等 イメージ図



岡山県家庭教育応援条例

家庭教育は、全ての教育の出発点であり、子どもの健やかな育ちの基盤を作るために極めて重要である。子どもは、親や保護者との愛情や絆、家庭での触れ合い等を通じ、基本的な生活習慣や自立心、自制心、社会のルール等を身に付け、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。

近年、共働き世帯やひとり親世帯の増加といった家族形態の変容や、経済的な問題など社会環境が変化していく中で、暮らしにゆとりのない家庭が増えつつある。また、地域のつながりの希薄化等を背景として、保護者が子育ての悩みや不安を抱えたまま孤立してしまうこともある。このような家庭を取り巻く環境の様々な変化に伴い、家庭や地域の教育力の低下が大きな問題となっている。

岡山県では、これまでも家庭教育を支援する取組を行っているが、複雑かつ多様化する社会環境に対応した支援を行うためには、今こそ、各関係者が連携を図り、各家庭の自主性を尊重しつつ、社会全体で家庭教育を支えていくことが必要である。

そこで、地域の宝であり、未来への希望である子どもたちのため、全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう社会全体で応援する「家庭教育応援県岡山」の実現を目指し、ここに条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、家庭教育の支援について、基本理念及びその実現を図るために必要な事項を定め、家庭教育を支援するための施策（以下「家庭教育支援施策」という。）を総合的に推進し、保護者が学び、成長していくこと及び子どもが将来親になる選択をした場合のために学ぶことを促すとともに、子どもの健全な成長のために必要な生活習慣の確立、自立心の育成及び心身の健やかな発達に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において「家庭教育」とは、保護者（親権を行う者、未成年後見人その他の者で、子どもを現に監護するものをいう。以下同じ。）が、その子どもに対して行う教育をいう。

2 この条例において「子ども」とは、おおむね18歳未満の者をいう。

3 この条例において「学校等」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校（大学を除く。）、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第39条第1項に規定する保育所及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）第2条第6項に規定する認定こども園をいう。

4 この条例において、「地域活動団体」とは、地域的な共同活動を行う団体をいう。

(基本理念)

第3条 家庭教育の支援は、保護者がその子どもの教育について第一義的責任を有するという基本的認識の下に、県、市町村、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他の社会の全ての構成員が、家庭における自主性を尊重しつつ、それぞれの役割を果たすとともに、相互に協力しながら、一体的に取り組むことを旨として行わなければならない。

2 家庭教育の支援は、一人一人の子どものかけがえのない個性を尊重するとともに、

多様な家庭環境に十分配慮して行わなければならない。

- 3 家庭教育の支援は、幼児期における教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、とりわけ幼児期に重点を置いて行わなければならない。

(県の責務)

第4条 県は、前条に定める基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもに関わる各部署が家庭教育の支援を目的とした体制を整備するとともに、家庭教育支援施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

- 2 県は、前項の規定により家庭教育支援施策を策定し、及び実施するときは、市町村、保護者、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他の関係者と連携して取り組むこととし、保護者及び子どもの障害の有無、ひとり親家庭の存在、保護者の経済状況その他の家庭状況の多様性に十分配慮するものとする。

(市町村との連携等)

第5条 県は、市町村が家庭教育支援施策を策定し、又は実施するときは、市町村と連携するとともに、市町村に対して情報の提供、助言その他の必要な支援を行うものとする。

(保護者の役割)

第6条 保護者は、基本理念にのっとり、子どもの健全な成長のために必要な生活習慣の確立、自立心の育成及び心身の健やかな発達を図るよう努めるものとする。

- 2 保護者は、家庭教育を充実させるため、学校等と連携するよう努めるものとする。

(学校等の役割)

第7条 学校等は、基本理念にのっとり、保護者、地域住民、地域活動団体等と連携して、子どもの健全な成長のために必要な生活習慣を身に付けさせるとともに、自立心の育成及び心身の健やかな発達を図るよう努めるものとする。

- 2 学校等は、県及び市町村が実施する家庭教育支援施策に協力するよう努めるものとする。

(地域住民等の役割)

第8条 地域住民は、基本理念にのっとり、保護者及び学校等と連携して、家庭教育を行うために良好な地域環境の整備に努めるとともに、地域の歴史、伝統、文化、行事等を伝えることを通じ、子どもの健全な育成に努めるものとする。

- 2 地域活動団体は、基本理念にのっとり、保護者及び学校等と連携して、家庭教育を支援するための取組を積極的に行うよう努めるものとする。

- 3 地域住民及び地域活動団体は、県及び市町村が実施する家庭教育支援施策に協力するよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第9条 事業者は、基本理念にのっとり、家庭教育における保護者の役割の重要性に鑑み、その雇用する従業員の仕事と家庭生活との両立が図られるよう、必要な雇用環境の整備に努めるものとする。

- 2 事業者は、県及び市町村が実施する家庭教育支援施策に協力するよう努めるものとする。

(保護者、学校等、地域住民等の連携した活動の促進等)

第10条 県は、保護者、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他の関係者が相互に連携し、及び協力して取り組む家庭教育を支援するための活動の促進を図るとともに、県民皆で支え合う環境づくりを推進するものとする。

(保護者の学びの支援)

第 11 条 県は、保護者の学び（保護者が、子どもの発達段階に応じて重視すべき家庭教育の内容、子育ての知識その他の保護者として必要なことを学ぶこと、互いに交流すること等をいう。次項において同じ。）を支援する学習方法の開発及び普及を図るものとする。

2 県は、保護者の学びの機会を提供するとともに、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他の関係者の取組に対し支援するものとする。

(親になる選択をした場合のための学びの支援)

第 12 条 県は、親になる選択をした場合のための学び（子どもが、家庭の役割、子育ての意義その他の将来親になる選択をした場合のために学ぶことをいう。次項において同じ。）を支援する学習方法の開発及び普及を図るものとする。

2 県は、親になる選択をした場合のための学びの機会を提供するとともに、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他の関係者の取組に対し支援するものとする。

(人材養成等)

第 13 条 県は、家庭教育に関する支援を行う人材の養成、資質の向上及び相互の連携を推進するものとする。

(相談体制の整備等)

第 14 条 県は、家庭教育に関する相談に応ずるため、相談体制の整備及び充実、相談窓口の周知その他の必要な施策を講ずるものとする。

(広報及び啓発)

第 15 条 県は、家庭教育の支援に関する社会的気運を醸成するため、家庭教育において保護者の果たす役割及び社会の全ての構成員が家庭教育を支援することの重要性について、県民の理解を深めるとともに、意識を高めるための広報及び啓発を行うものとする。

(財政上の措置)

第 16 条 県は、家庭教育支援施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(公表)

第 17 条 県は、毎年度、県の家庭教育支援施策の実施状況を公表するものとする。

(家庭教育を応援する日)

第 18 条 県は、家庭教育を充実させるため、岡山県家庭教育応援の日（11 月の第 3 日曜日）を定め、家庭教育についての県民の関心及び理解を深めるための啓発活動その他の事業を実施するよう努めるものとする。

附 則

(施行日)

1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

(検討)

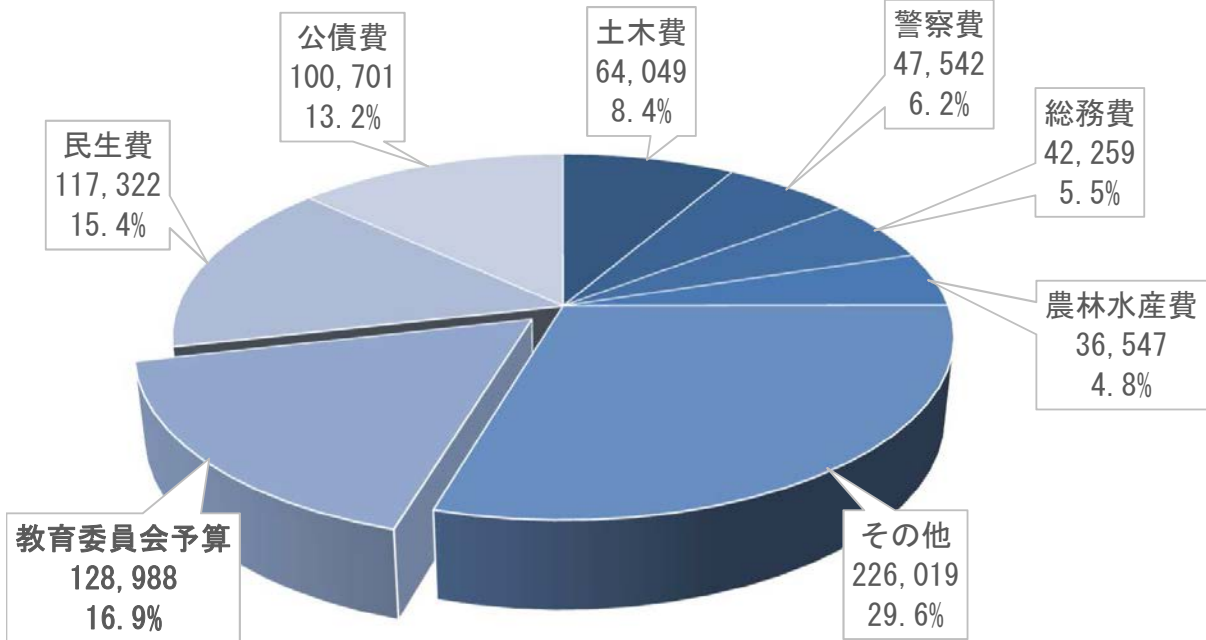
2 県は、この条例の施行後 3 年を超えない期間ごとに、県民の意見、社会情勢の変化等を踏まえ、必要があると認めるときは、この条例の規定について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

資料編

県予算と教育委員会予算

[単位:百万円]

	令和4年度 当初予算 A	令和3年度 当初予算 B	増減 A-B	対前年度比 A/B
県予算(一般会計)	763,427	759,826	3,601	100.5%
教育委員会予算	128,988	133,608	▲ 4,620	96.5%



〈目的別の割合〉

小学校費	29.8%
高等学校費	28.3%
中学校費	16.8%
教育総務費	12.8%
特別支援学校費	10.3%
社会教育費	1.7%
保健体育費	0.3%

〈分類別の割合〉

人件費	88.5%
一般行政経費等	11.5%

教職員定数

[単位:人]

	令和4年度				令和3年度				増減
	教員等	事務職員	栄養職員等	計	教員等	事務職員	栄養職員等	計	
事務局等		351		351		349		349	2
小学校	4,675	300	67	5,042	4,727	310	78	5,115	▲ 73
中学校	2,519	136	33	2,688	2,534	136	27	2,697	▲ 9
定時制高校	211	8	1	220	212	8	1	221	▲ 1
全日制高校	2,794	311		3,105	2,810	313		3,123	▲ 18
特別支援学校	1,258	89	13	1,360	1,254	84	13	1,351	9
計	11,457	1,195	114	12,766	11,537	1,200	119	12,856	▲ 90

令和3年度→令和4年度にかけての事業整理表

事業名		備考・関連ページ
令和3年度	令和4年度	
生徒指導専任リーダーの配置	→ (廃止)	
就学前からのスクールソーシャルワーカー (SSW) 活用実践研究事業	→ (廃止)	
おかやま創生小中学校パワーアップ事業	→ おかやま夢発信・交流事業	P21他
高等学校魅力化推進事業	→ 高校と地域で創る学びのプロジェクト	P23他
1人1台端末活用推進事業	→ (廃止)	
県立学校等の情報発信事業	→ (廃止)	
就学前からの発達支援事業	→ 就学前からの特別支援教育拠点化推進事業	P25
小中学校特別支援学級担任等対象研修	→ (廃止)	
令和3年度全国学校保健・安全研究大会開催	→ (廃止)	
放課後学習サポート事業	→ 主体的な学びの基盤づくり事業	P37
岡山型スーパーグローバルハイスクール	→ グローバル・リーダー育成拠点構築事業	P31他
「スマート専門高校」の実現 (デジタル化対応産業教育装置の整備)	→ デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用	P36他
ICT活用支援事業	→ (廃止)	
英語力向上ICT教材活用事業	→ (廃止)	
親育ち応援学習リーダースキルアップ講座	→ (廃止)	
オリンピック・パラリンピック教育推進事業	→ (廃止)	
学校・地域スポーツ環境整備事業	→ (廃止)	
スポーツ医・科学に基づいた指導等に関する研修会	↘	
方針実践モデル校事業	→ 「運動部活動方針」実践推進事業	P55他
優良事例発表会	↗	
教育課程研究指定校事業	→ (廃止)	
新規	別室指導普及事業	P12
新規	ICT活用指導カレレベルアップ推進事業	P16他
新規	岡山型課題解決型学習 (PBL) ガイドブック作成事業 (小・中・中等)	P21他
新規	「君に届け!」夢への架け橋事業	P21他
新規	オンライン国際交流コーディネーター配置事業	P22他
新規	通級による指導におけるICT活用研究事業	P26他
新規	PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進 (中等・高)	P32他
【拡充事業】		
スクールカウンセラー (SC) 配置事業		P11他 年間派遣10回未満の学校を解消
スクールソーシャルワーカー (SSW) を活用した行動連携推進事業		P11他 SSWは全員有資格者を任用
不登校対策別室指導実践研究		P12他 専用教室設置校を拡充
学校経営力向上支援事業		P15 学校経営アドバイザーを増員
授業改革推進リーダー・授業改革推進員の配置		P16 チーム数を拡充
部活動指導員配置事業		P16 配置数を拡充
特別支援学校技能検定		P24他 小学部技能検定で企画・開発を実施
居住地校交流充実事業		P26 モデル校数を拡充
地域部活動推進事業		P55 モデル校数を拡充

知事部局等の関連事業

総務部

奨学のための給付金 **拡** [2億3,955万円]

非課税世帯を対象に私立高校生等への支給額を増額

- (全日制等：第1子)
年額129,600円 → 134,600円
- (全日制等：第2子以降)
年額150,000円 → 152,000円
- (通信制・専攻科)
年額50,100円 → 52,100円

〈総務学事課〉

私立小中学校等の家計急変世帯への支援 [1,951万円]

入学後に家計急変した児童生徒の継続的な学びを支援
(家計急変後の年収が400万円未満+資産保有額700万円未満)
年額336,000円

〈総務学事課〉

ICT環境整備への助成 [2,785万円]

私立学校が行うICT環境整備の取組に対し、補助対象経費の1/2を助成

〈総務学事課〉

県民生活部

青少年健全育成・非行対策事業 [1,076万円]

家庭、学校、地域社会と連携して青少年の健全育成を進める県民運動を展開するなど、青少年が健やかに育つ社会づくりに取り組みます。

- 青少年健全育成推進事業
 - 青少年育成県民運動推進事業
 - 青少年のスマホ・ネット利用のルールづくり促進事業
- 広域補導
- 青少年相談員制度の充実・強化
- 青少年健全育成に向けた講師派遣事業
- 岡山県青少年総合相談センターSNS相談試行事業
 - ・ 青少年総合相談センターにおいてSNSによる相談を試行実施
- おかやま子ども・若者育成支援事業
 - 子ども・若者育成支援ネットワーク構築事業
〈男女共同参画青少年課〉

地域防犯指導者・リーダー育成に関する事業 [49万円]

地域の防犯ボランティア等を対象とした研修を行い、子どもの安全確保に向けた自主防犯活動を支援します。

- 自主防犯パワーアップ講座
- 地域安全マップ指導者講習会

〈くらし安全安心課〉

未来をつくるグローバルチャレンジ応援事業 [1,045万円]

留学促進フェアや産学官が連携した奨学金等により、県内学生等の海外留学を促進し、グローバル人材の育成を図ります。

- 留学促進フェア
 - ・ 留学経験者・関係機関によるセミナーや海外大学等との相談会等を実施
- 国際交流員等による出前講座 **拡**
 - ・ 国際交流員等が県内の高校・中学等に出向き、「自身の体験に基づく留学の意義・魅力」を内容とする講座を実施
- 未来へトビタテ！おかやま留学応援事業
 - 留学支援プログラムの実施
 - ・ 産学官が連携し、県内企業等からの協賛金をもとに県内学生等に対する留学のための奨学金制度を実施
 - 派遣学生等の交流・情報交換の場の設置 **新**
 - ・ SNSを活用した派遣学生等の交流・情報交換の場を設置
- 大学等の協定締結拡大支援
 - ・ 留学先の選択肢を充実させるため、各国の大使館等の協力を得て、県内大学等の協定校の拡大等を支援
- 地元経済界からの支援拡大 **新**
 - ・ 未来へトビタテ！おかやま留学応援事業の周知等や協賛企業のイメージアップを図るための認定制度を創設
〈国際課〉

土木部

建設産業人材確保・定着促進事業 [297万円]

建設産業の担い手を確保するため、建設産業に関する情報発信や入職促進に向けたコーディネートを行います。

- 入職コーディネート事業
 - ・ 県立工業高校等の生徒を対象とした建設現場の見学会や地元建設業者との意見交換会を開催
- 中学生に向けた情報発信
 - ・ 地元建設業従事者等を派遣し、講演や授業を実施
〈監理課〉

警察本部

少年非行情勢の更なる改善を図るための事業 [2,241万円]

学校警察連絡室による専従体制を確立し、学校等と緊密に連携しながら、小学校を含めた中学校区(モデル校区)を中心に集中的な非行防止対策を推進するとともに、専門員を雇用して県下の学校における非行防止教室を推進します。

〈少年課〉

環境文化部

環境学習推進事業 [3,281万円]

県民や事業者、NPOなど環境団体等と協働して体験型環境学習の機会や資材を充実するなど、実践的かつ総合的・効果的な環境学習を促進します。

- 環境学習出前講座の実施
- 環境学習エコツアー事業
 - ・資源循環を推進している先進的企業や廃棄物処理施設、新エネルギー関連施設等の環境関係施設を見学、体験する環境学習エコツアーを実施

〈新エネルギー・温暖化対策室〉

おかやま子どもみらい塾事業

[458万円]

子どもたちが、「本物の文化芸術」を体験することで、文化に親しみ、関心を持つきっかけづくりとするため、文化芸術の専門家を学校に派遣します。

〈文化振興課〉

つくろう・のぼそう！スポーツプロジェクト [334万円]

児童生徒、ジュニアアスリートに対する多角的な支援体制を充実

〈スポーツ振興課〉

ステップアップ

おかやまアスリート事業 [1,265万円]

主に小学生から高校生の育成・強化のため、体験会の開催や競技会へのアスレティックトレーナーを派遣

〈スポーツ振興課〉

保健福祉部

子ども虐待防止対策総合強化事業 [6,880万円]

増加する子ども虐待へ効果的に対応するため、児童相談所の機能を強化するとともに、「岡山県社会的養育推進計画」等に基づく施策を推進することで、市町村の相談支援体制を構築し、代替養育のすべての段階で子どものニーズに合った養育環境を整備します。

- 児童相談所の機能強化
 - 児童家庭支援センター運営事業
 - ・児童相談所の補完的役割を担う児童家庭支援センターの運営等の支援を行い、地域の支援体制を充実
 - 一時保護所機能強化事業
 - ・一時保護所の医療的ケア体制を強化
 - 児童相談所法的対応強化事業
 - ・弁護士と顧問契約を締結し、連携を強化
 - 親子関係再構築支援事業
 - ・虐待をした親へ医学的知見等に基づく指導を実施
- 社会的養育推進計画の推進
 - 里親委託推進・支援事業
 - ・里親への委託の推進を強化
 - 子ども家庭総合支援拠点整備促進事業
 - ・市町村の相談支援体制の強化を促進
 - 社会的養護自立支援事業
 - ・施設等を退所した子どもの自立を総合的に支援
 - 児童養護施設職員人材確保事業
 - ・実習生への指導体制等を整備し、施設の人材確保を促進

〈子ども家庭課〉

産業労働部

科学技術振興事業 [126万円]

- 「集まれ！科学好き」開催事業
 - ・科学系サークル活動を行う中高生に研究発表の場を提供する研究発表コンテスト、企業講演を開催

〈産業振興課〉

インバウンド向け学生ガイド育成・情報発信事業

[50万円]

県内大学と連携の上、大学生を通訳ガイドとして育成するほか、若者目線による情報発信等を行い、若者との交流に興味のある外国人観光客の満足度向上を目指します。

- ・インバウンド向け学生ガイドを育成する講義や自主ゼミ等を開設している県内大学と連携
- ・外国人をゲストとした招聘ツアーの実施やノベルティの作成等を実施

〈観光課〉

高校生のものづくり技能取得支援事業 [129万円]

工業系高校生の技能検定合格に向けた支援を実施し、産業の担い手を育成します。

- ・県高等学校工業教育協会へ練習用材料費の一部を補助
- ・低所得者世帯の高校生の技能検定実技試験受験料を全額免除

〈労働雇用政策課〉

主な教育関連等の月間・週間・日 一覧

毎月設定されているもの

名称	期間等	設定主体	趣旨・取組等
岡山県下一斉あいさつ運動	毎月10日	県教委	子どもたちの豊かな心や社会性を育むとともに、子どもや保護者、教員、地域の間人関係を深め、地域を挙げて子どもを見守り、育てる気運を高めるため、県内の小・中・高・特別支援学校が、一斉に、朝のあいさつ運動を展開する。
食育の日	毎月19日	国	食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図る。

月間で設定されているもの

食育月間	6月	国	国、地方公共団体、関係団体等が協力して食育推進運動を重点的かつ効果的に実施し、食育の一層の浸透を図る。
青少年の非行・被害防止全国強調月間	7月	国	青少年の非行防止等について、国民が理解を深め、さらに関係機関・団体と地域住民等とが相互に協力・連携して、青少年の規範意識の醸成及び有害環境への適切な対応を図るなどの各種取組を集中的に実施する。
青少年健全育成強調月間	7月、11月、3月	県	青少年の健全育成と非行防止について、より一層県民の理解を深めるとともに、家庭や地域において青少年の健全育成に取り組む気運の醸成を図るため、関係機関、団体が一体となった運動を集中的に展開する。
「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン月間	11月	県教委	関係機関・団体等と連携し、広く県民に生活リズムの重要性を啓発・広報する。
子ども・若者育成支援強調月間	11月	国	国民の子ども・若者育成支援に対する理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加を促し、国民運動の一層の充実と定着を図る。
児童虐待防止推進月間	11月	国	児童虐待防止に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を行う。
地球温暖化防止月間	12月	国	国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業を始めとする様々な取組を行うことにより、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図る。

週間で設定されているもの

発達障害啓発週間	4/2～4/8	団体	全世界の人々に、自閉症をはじめとする発達障害について理解をしていただくことにより、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目指す。
「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン週間	5・9・1月にそれぞれ2週間	県教委	関係機関・団体等と連携し、広く県民に生活リズムの重要性を啓発・広報する。
禁煙週間	5/31～6/6	国	WHOによる世界禁煙デーに合わせ、禁煙を推進する。
いじめについて考える週間	6月第1月曜日から1週間(6/6～12)	県教委	「岡山県子どもいじめ防止宣言」をもとに、各学校の実態に応じていじめの未然防止等に繋がる取組を展開し、児童生徒の意識や態度を育成する。
歯と口の健康週間	6/4～10	国	歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せて早期発見・早期治療を励行する。
防災週間	8/30～9/5	国	政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する。
自殺予防週間	9/10～16	国	自殺や精神疾患に関する正しい知識を普及啓発し、これらに対する偏見をなくしていくとともに、命の大切さや、自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいたときの対応方法等について理解の促進を図る。
結核予防週間	9/24～30	国	国民の結核に対する正しい理解を得るため、地域の団体組織等を通じて、より一層の普及啓発を図る。
全国労働衛生週間	10/1～7	国	労働者の健康管理や職場環境の改善など「労働衛生」に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保する。
読書週間	10/27～11/9	団体	国民すべて、特に青少年に読書を進める。読書グループの結成促進、家庭文庫・地域文庫・職場文庫の充実を図る。

名称	期間等	設定主体	趣旨・取組等
おかやま教育週間	11/1～7	県教委	県民の教育に対する認識を高めるとともに、学校教育及び生涯学習の気運を醸成し、その充実と発展を図る。
文化財保護強調週間	11/1～7	国	広く国民に文化財に関する理解と関心を深め、文化財保護への一層の協力を得ることを目的とする。
教育・文化週間	11/1～7	国	「文化の日」を中心に教育・文化に関する行事を全国的に開催することにより、教育・文化に親しむ。
家族の週間	家族の日の前後1週間(11/13～26)	国	家族や地域の大切さ等についての理解の促進を図る。
障害者週間	12/3～9	国	国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。
人権週間	12/4～10	国	世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図る。
全国学校給食週間	1/24～30	国	学校給食の意義・役割等について児童生徒や教職員・保護者・地域住民等の理解と関心を高め、学校給食の一層の充実と発展を図る。
子ども予防接種週間	3/1～7	国	保護者をはじめ、地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図る。

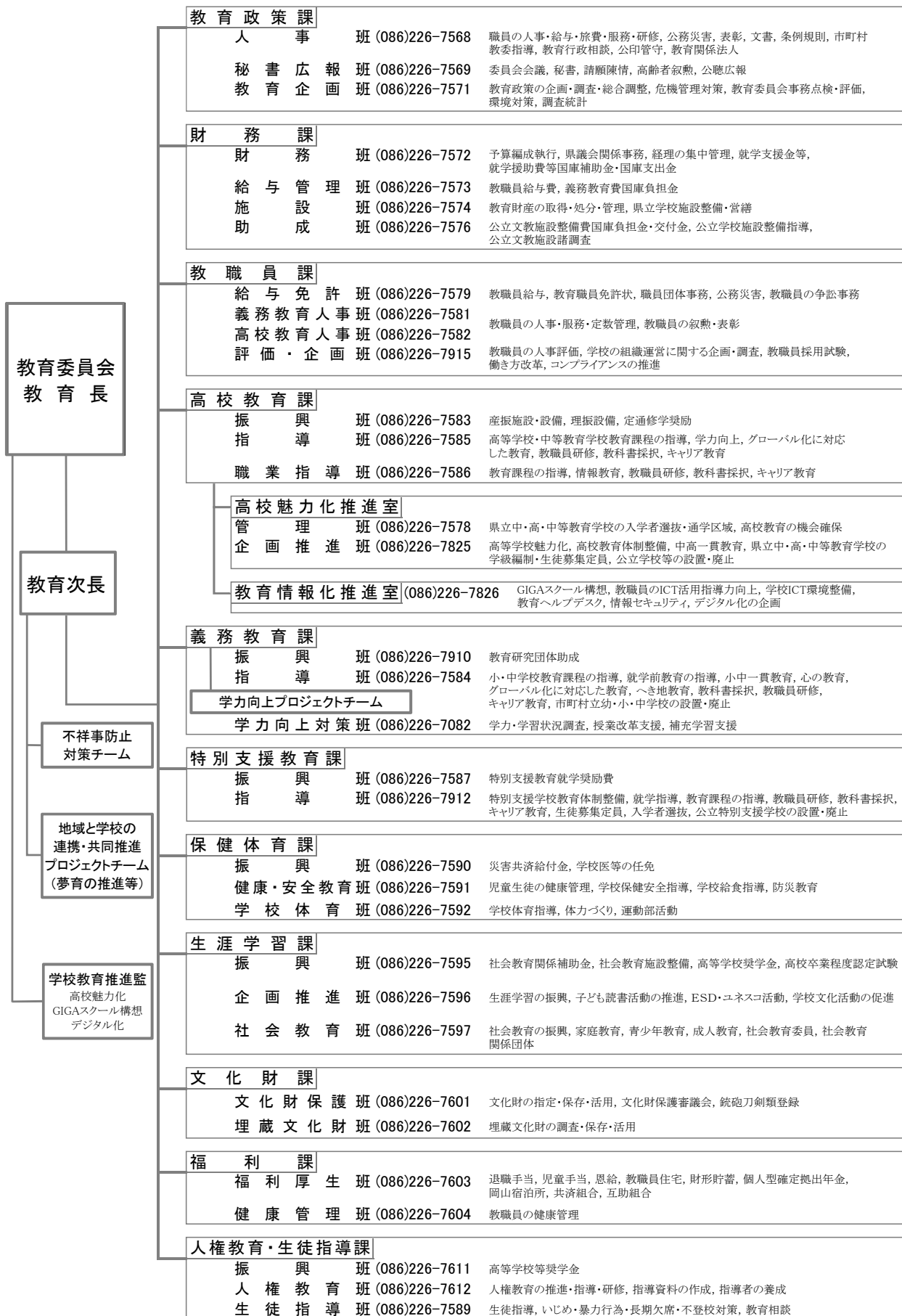
日で設定されているもの

世界自閉症啓発デー	4/2	国連	全世界の人々に、自閉症をはじめとする発達障害について理解をしていただくことにより、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目指す。
子ども読書の日	4/23	国	国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める。
防災の日	9/1	国	政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する。
スポーツの日	10月第2月曜日(10/10)	国	スポーツを楽しみ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で活力ある社会の実現を願う。
おかやま教育の日	11/1	県教委	県民の教育に対する認識を高めるとともに、学校教育及び生涯学習の気運を醸成し、その充実と発展を図る。
津波防災の日	11/5	国	津波による被害から国民の生命、身体及び財産を保護することを目的とする。
いい歯の日	11/8	県	県民一人ひとりが歯と口の健康について考える。
家族の日	11月第3日曜日(11/20)	国	家族や地域の大切さ等についての理解の促進を図る。
世界人権デー	12/10	国連	全ての加盟国及び関係機関が世界人権宣言が採択されたこの日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行う。
文化財防火デー	1/26	国	文化財を火災・震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識高揚を図る。
世界ダウン症の日	3/21	国連	ダウン症のある人たちとその家族、支援者への理解がより一層深まり、ダウン症のある人たちがその人らしく安心して暮らしていけるように、さまざまな啓発のイベントを通じて世界中の人々に訴える。

その他一定の期間で設定されているもの

春の交通安全県民運動	4/6～15	県	広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身の積極的な交通安全活動への取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図る。
秋の交通安全県民運動	9/21～30		
麻薬・覚醒剤乱用防止運動	10/1～11/30	国	麻薬・覚醒剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知し、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用の根絶を図ることを目的とする。
年末年始の交通安全県民運動	12/1～1/6	県	年末、年始の繁忙期を迎え、交通事故の増加が懸念されるため、「年末・年始の交通事故防止県民運動」を実施することにより、県民一人ひとりの交通安全意識を高め、交通事故の防止を図る。

県教育委員会の組織・分掌



県立学校

教育事務所

岡山(086)221-0529
津山(0868)24-8702

中 学 校 3 校

岡山操山 (086)272-9836	倉敷天城 (086)429-3494	津山 (0868)22-3301
--------------------	--------------------	------------------

高 等 学 校 51 校

岡山朝日 (086)272-1271	玉島 (086)522-2972	高梁 (0866)22-3047
岡山操山 (086)272-1241	倉敷鷺羽 (086)472-2888	高梁城南 (0866)22-2237
岡山芳泉 (086)264-2801	倉敷工業 (086)422-0476	新見
岡山一宮 (086)284-2241	水島工業 (086)465-2504	南校地 (0867)72-2260
岡山城東 (086)279-2005	倉敷商業 (086)422-5577	北校地 (0867)72-0645
西大寺 (086)942-4150	玉島商業 (086)522-3044	備前緑陽 (0869)63-0315
瀬戸 (086)952-1031	津山 (0868)22-2204	邑久 (0869)22-0017
高松農業 (086)287-3711	津山東 (0868)22-9307	勝山
興陽 (086)296-2268	津山工業 (0868)22-4174	勝山校地 (0867)44-2628
瀬戸南 (086)952-0831	津山商業 (0868)22-2421	蒜山校地 (0867)66-2016
岡山工業 (086)252-5231	玉野 (0863)31-4321	真庭
東岡山工業 (086)279-0565	玉野光南 (0863)51-2311	落合校地 (0867)52-0056
岡山東商業 (086)272-1237	笠岡 (0865)62-5128	久世校地 (0867)42-0625
岡山南 (086)224-2226	笠岡工業 (0865)67-0311	林野 (0868)72-0030
岡山御津 (0867)24-0831	笠岡商業 (0865)62-5245	鴨方 (0865)44-2158
倉敷青陵 (086)422-8001	井原	和気閑谷 (0869)93-1188
倉敷天城 (086)428-1251	北校地 (0866)62-0057	矢掛 (0866)82-0045
倉敷南 (086)423-0600	南校地 (0866)62-0203	勝間田 (0868)38-3168
倉敷古城池 (086)455-5811	総社 (0866)93-0891	鳥城 (086)251-9755
倉敷中央 (086)465-2559	総社南 (0866)93-6811	

総合教育センター
(0866)56-9101

中 等 教 育 学 校 1 校

岡山大安寺 (086)255-5013

特 別 支 援 学 校 14 校

岡山盲 (086)272-3165	岡山南支援 (086)298-1090	健康の森学園支援 (0867)96-2995
岡山聾 (086)279-2127	岡山瀬戸高等支援 (086)952-5633	東備支援 (0869)66-8501
岡山支援 (086)275-1010	倉敷まきび支援 (086)697-1233	早鳥支援 (086)482-2131
岡山西支援 (086)243-4535	倉敷琴浦高等支援 (086)477-9301	護生寺支援 (0867)28-2321

教 育 に 関 す る 相 談 窓 口

◆いじめ・不登校・進路・養育等に関すること

《教育一般に関する相談》

◇県総合教育センター	(0866)56-9115
◇岡山県青少年総合相談センター	
総合相談窓口・すこやか育児テレフォン	(086)224-7110
	E-mail: sodan110@po1.oninet.ne.jp
教育相談(学校教育)	(086)221-7490
進路相談	(086)224-1121
子どもほっとライン	(086)235-8639
	E-mail: kodomo@po1.oninet.ne.jp
ヤングテレホン・いじめ110番	(086)231-3741
	E-mail: youngmail@pref.okayama.jp
◇児童相談所全国共通ダイヤル	0570-064-000

《いじめに関する相談》

◇24時間子供SOSダイヤル	0120-0-78310
----------------	--------------

◆特別支援教育に関すること

◇県総合教育センター	(0866)56-9117
◇県福祉相談センター	(086)235-4152

◆生涯学習、体験・ボランティア活動に関すること

◇県生涯学習センター	(086)251-9750
◇体験・相談コーナー(体験・ボランティア活動)	(086)251-9758

◆教育行政相談に関すること

◇教育行政相談窓口(県教育庁教育政策課内)	(086)226-7909
-----------------------	---------------

◆教職員の健康に関すること

◇ここからからの健康相談	(086)235-8349
--------------	---------------

◆学校支援ボランティアの活用(おかやま子ども応援人材バンク)

◇おかやま子ども応援センター	(086)226-7597
	E-mail: kodomo-ouen@pref.okayama.jp

◆学校・教職員に対する保護者や地域等からの相談、苦情や要求等に関する法律相談(岡山弁護士会)
(岡山型スクールロイヤー制度)

◇9:00~17:00	(086)223-4401
-------------	---------------

※土・日・祝日・年末年始を除く

生涯学習センター (086)251-9750
県立図書館 (086)224-1286
県立博物館 (086)272-1149
古代吉備文化財センター (086)293-3211
指定管理者による
渋川青年の家 (0863)81-8039
青少年教育センター閑谷学校 (0869)67-1427
特別史跡旧閑谷学校 (0869)67-9900

令和3年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター」
岡山県教育委員会教育長賞作品



県立岡山工業高等学校2年（受賞当時）千田 見欧さんの作品です